

持続可能な社会をみつめて…

We do! 2010

広島ガス CSR 報告書





1909年の創立以来、炎が創る生活の素晴らしさをお届けしています。

Wedo!

持続可能な
社会をみつめて…
2010

▶ 発行にあたって

「広島ガスCSR報告書「We do! 2010」

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献等のさまざまな社会的責任（CSR: Corporate Social Responsibility）を果たしてきました。近年、一つの指標としてCSRの観点から企業を評価するなど、企業のCSR活動への注目は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度から当社の開示情報を環境分野と経営分野の両面から報告することを目的に本報告書を発行してきました。2003年度版からは、GRIのガイドライン^{*}を参考に新たに社会的側面も報告対象とし、2005年度版からは、社会分野を他のパートから独立して設け、「経営（経済）」「環境」「社会」の3分野で構成、タイトルも「CSR報告書」として発行しています。

2010年度版では、2009年10月に当社が創立100周年を迎えたことを受け、100年にわたる当社の歴史やその記念事業等について、巻頭特集として記載しています。

参考ガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」
- ・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」
- ※GRI: Global Reporting Initiativeの略。全世界で適用可能な報告書ガイドライン作成に取り組んでいる国際組織

主な対象範囲

広島ガス株式会社の2009年4月から2010年3月までの活動（経営・環境・社会）

※一部広島ガスグループおよび2010年度上期の活動を含む

Contents

目次・発行にあたって	1
CSRへの取り組み（基本的な考え方）	2
TOP MESSAGE	3
巻頭特集	
「100年の歴史を振り返って」	5
「新たなる100年のはじまりに」	7
広島ガスの概要	9
広島ガスグループの概要	11
トピックス	12

経営分野

広島ガスグループの経営体制	14
都市ガス事業	17
広島ガスの都市ガス安定供給への取り組み	18
2010年度事業計画の概要（中期経営計画含む）	19
業績概要（連結）	21
業績概要（単体）	22

環境分野

クリーンエネルギー天然ガス	24
環境保全活動の基本的な考え方・しくみ	25
環境目標および実績	27
事業活動における環境負荷（2009年度実績）	29
環境会計	31
お客さま先での環境負荷の低減	33
事業活動における環境負荷の低減	35
地域環境保全への貢献	37
環境活動のあゆみ	39
データ一覧	40

社会分野

社会活動の考え方	42
お客さまとの関わり	43
地域社会との関わり（芸術・文化、地域、スポーツ振興）	47
地域社会との関わり（次世代教育への取り組み）	49
従業員との関わり	51
情報発信・コミュニケーション	53

本報告書の記載項目のうち、関連するページおよび広島ガスホームページにも掲載されている事項を、下記のように表記しておりますのでご参照ください。

P. * 詳しくは * のページをご参照ください。

WEB 詳しくは広島ガスホームページをご参照ください。
▶▶▶ <http://www.hiroshima-gas.co.jp/>

広島ガス「Wedo! 2010」によせて



神戸大学大学院 経営学研究科
こくぶ かつひこ
國部 克彦 教授

広島ガスは創立100周年を迎え、新たな歩みを始めました。新ビジョン「Action for Dream 2020」は、来るべき100年の最初の10年間における方向性を示す長期計画であり、そこでは環境や社会的責任が明確に示されています。この長期計画を、中期経営計画に落とし込み、具体的に推進していくことが、本報告書では詳しく説明されています。

新しい100年間は、これまでの100年間と比べて、量的な拡大ではなく、広島ガスを取り巻くステイクホルダーの生活の質をいかに向上させるかが、重要な鍵を握ると考えます。そのために

は同社が促進しておられる環境対策や、従業員対応、さらには地域社会貢献を一層深める必要があります。

広島ガスの業種特性を考えれば、雇用を含めた地域社会への貢献が特に重要になるでしょう。エネルギーのプロとして広島という地域にどのような貢献ができるのかを、幅広く考えて行動することが、広島ガスのCSR活動であり、事業活動そのものであると考えます。現在も地域貢献についてはさまざまな取組みをされておりありますが、今後は、CSR活動を事業開発にも結び付けて、地域全体の発展をさらに促進されることを期待します。

CSRへの取り組み（基本的な考え方）

CSR(企業の社会的責任)には、「経営(経済)」「環境」「社会」の3つの側面があり、持続可能な社会の実現のためには、企業活動としてこれらの3つの要素が必要とされています。

当社および当社グループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安全にお届けし、安心して安全にお使いいただくという、極めて公益性の高い事業を行っており、その事業の遂行こそが大きな「社会的責任」であると考えています。また、ガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸とした低炭素社会実現に向けた活動や、日常からのさまざまな業務や活動を通じ、お客さま・地域社会・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダー(利害関係者)の皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしています。

経営理念

地域社会から信頼される会社をめざす

新ビジョン
「Action for
Dream
2020」

「お客さま」「地域社会」とのつながりを第一義と考え、「地域社会から信頼され、愛され、選ばれ続け、地域とともに発展する企業グループ」をめざす

当社は、2009年10月に、従来ビジョン「WING2010」に代わる広島ガスグループ2020年ビジョン「Action for Dream 2020」を策定しました。

新ビジョンは、2030年、2050年といった超長期のガス事業のあり方も視野に入れ、ガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、当社グループが次世代のあるべき姿に向けて持続的に発展していくための橋渡しと位置づけています。

■ 新ビジョンの方向性

《原点回帰》

- 本来業務であるエネルギー供給事業への回帰(経営資源の集中)を図る。
- お客さま第一主義へ再度立ち返り、選ばれ続ける企業グループをめざす。

温かく

- ◎ 人材を育む
- ◎ 環境を育む
- ◎ お客さま・地域との関係を育む



広く

- ◎ ガス体エネルギーの普及拡大(エリア・市場の拡大)
- ◎ 多様なエネルギーの提供

深く

- ◎ エネルギーの高度利用
- ◎ お客さまとの密なコミュニケーション
- ◎ お客さまが望まれるサービスの提供

新ビジョン実行
中期経営計画
2010年度事業計画

P.19

2010年度中期経営計画(2010~2012年度)を「新ビジョン実行中期経営計画」と位置づけ、新ビジョン実現に向けた施策を実行する

1. ガス体エネルギー(天然ガス・LPガス)の普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する。
2. お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る。
3. グループ全体の収益性を高め、健全で強靱な企業グループを構築する。
4. 公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1企業をめざす。
5. グループの成長を担う人材の育成を推進する。

持続可能な社会の実現にむけて

TOP MESSAGE

▶ 創立100周年を迎えて

当社は、1909年10月の創立後、戦災等の幾多の苦難を乗り越え、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。その結果、お客さま件数は、都市ガスで約42万件、グループ会社を通じてお届けしているLPG(液化石油ガス)も含めると合計で約60万件に達し、2009年10月には創立

100周年を迎えることができました。これはひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまなど多くの関係者の皆さまのひとかたならぬご支援の賜物であり、改めまして深く感謝申し上げます。

▶ 公益企業としての社会的責任

当社が果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、公益企業として、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことと考えております。

CSR(企業の社会的責任)には、「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。当社は、経営的側面ではエ

ネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、社会的側面では社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を、環境的側面ではクリーンエネルギー・天然ガスの普及・拡大等の事業活動を推進しております。

▶ 新ビジョン「Action for Dream 2020」の実現に向けて

近年、環境性・供給安定性に優れた天然ガスに対する期待は、ますます高まっています。2010年6月に閣議決定された「エネルギー基本計画」において、天然ガスは、低炭素社会の早期実現に向けた重要なエネルギー源であり、産業部門への導入や、燃料電池の技術開発と普及促進等を通じて、天然ガスシフトを推進すべきと位置づけら

れています。

当社は、2009年10月に策定した新ビジョン「Action for Dream 2020」を受けた2010年度中期経営計画(2010～2012年度)を、「新ビジョン実行中期経営計画」と位置づけ、新ビジョン実現に向けた施策の実行に努めてまいります。

▶ 天然ガスシフトによる低炭素社会実現への貢献

低炭素社会の実現に向けた取り組みが地球規模で進められる中、当社が天然ガスシフトを通じて貢献できる方法は二つあると考えております。

一つ目は、他の化石燃料に比べ環境負荷の小さい天然ガスを普及・拡大させることです。これまで、当社供給エリア内において、環境負荷の大きい化石エネルギーを使用されているお客さまを中心に天然ガスをご提案してきましたが、今後は、供給エリア外も含めた皆さまへのご提案も一層展開してまいります。

二つ目は、エネルギー効率の高いガス機器を普及・拡

大させることです。これまで、高効率給湯器「エコジョーズ」やエネルギー利用効率の高い「ガスコージェネレーションシステム」の導入を通じて、お客さま先(ガス供給先)におけるCO₂削減に努めてまいりました。2009年度には、電気と熱を自宅で作くり出せる家庭用燃料電池システム「エネファーム」を販売開始いたしました。今後は、これらの機器の普及・拡大とともに、太陽光等の再生可能エネルギーと天然ガス等との最適な組み合わせをめざして推進してまいります。



▶ 地域好感度No.1グループをめざして

当社グループは、地域にエネルギーを供給するという、地域性・公益性の高い事業を行っております。

本来業務であるエネルギー供給では、ガスショッップを核としたエリア営業体制の強化や訪問活動の充実等により、お客さまとの接点機会を充実させ、お客さまの目線に立ったサービス活動を強化いたします。

また、地域に根差した当社グループが持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の確実な遂行に加え、地域の芸術、文化、教育、スポーツ分野等における社会貢献活動

や、生物多様性にも配慮した環境保全活動を、一層充実させていきたいと考えております。

コンプライアンスの取り組みでは、グループ全体におけるコンプライアンス意識の徹底とリスクマネジメント体制の強化や風通しの良い職場環境の構築により、公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。

このような取り組みにより、「地域好感度No.1グループ」として、今後もすべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

▶ グループの「心・技・体」の充実に向けて

私は、深山現会長より、当社第17代社長としてのバトンを受けました。当社グループの事業運営にあたっては、「HERE AND NOW」の精神を受け継ぐとともに、私が社長就任以降、社内で訴えている「心・技・体」の充実を大切にしたいと考えております。

「HERE AND NOW」とは、今という時は二度と訪れないので「この時」「この場」に全力で集中するという意味です。

「心・技・体」とは、当社経営理念である「地域社会から

信頼される会社」をめざす「心」、新ビジョン、それを受けた2010年度中期経営計画や事業戦略を策定・実行する「技」、グループ役職員の現場力である「体」を意味しております。いずれも基本となるのは、役職員の前向きで、明るい、元気なパワー（現場力）です。

当社グループの役職員は、これらの言葉を胸に業務に精励してまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、当社グループの取り組みをご理解賜るとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2010年9月

代表取締役 社長執行役員

田村興造

100年の歴史を振り返って

当社は、2009年10月30日に創立100周年を迎えました。100年の歴史、それは先人たちの努力によってあらゆる苦難を乗り越えてきた歴史でもあります。その努力の一つひとつが、当社の今日の礎となっています。

《広島ガス100年の扉》



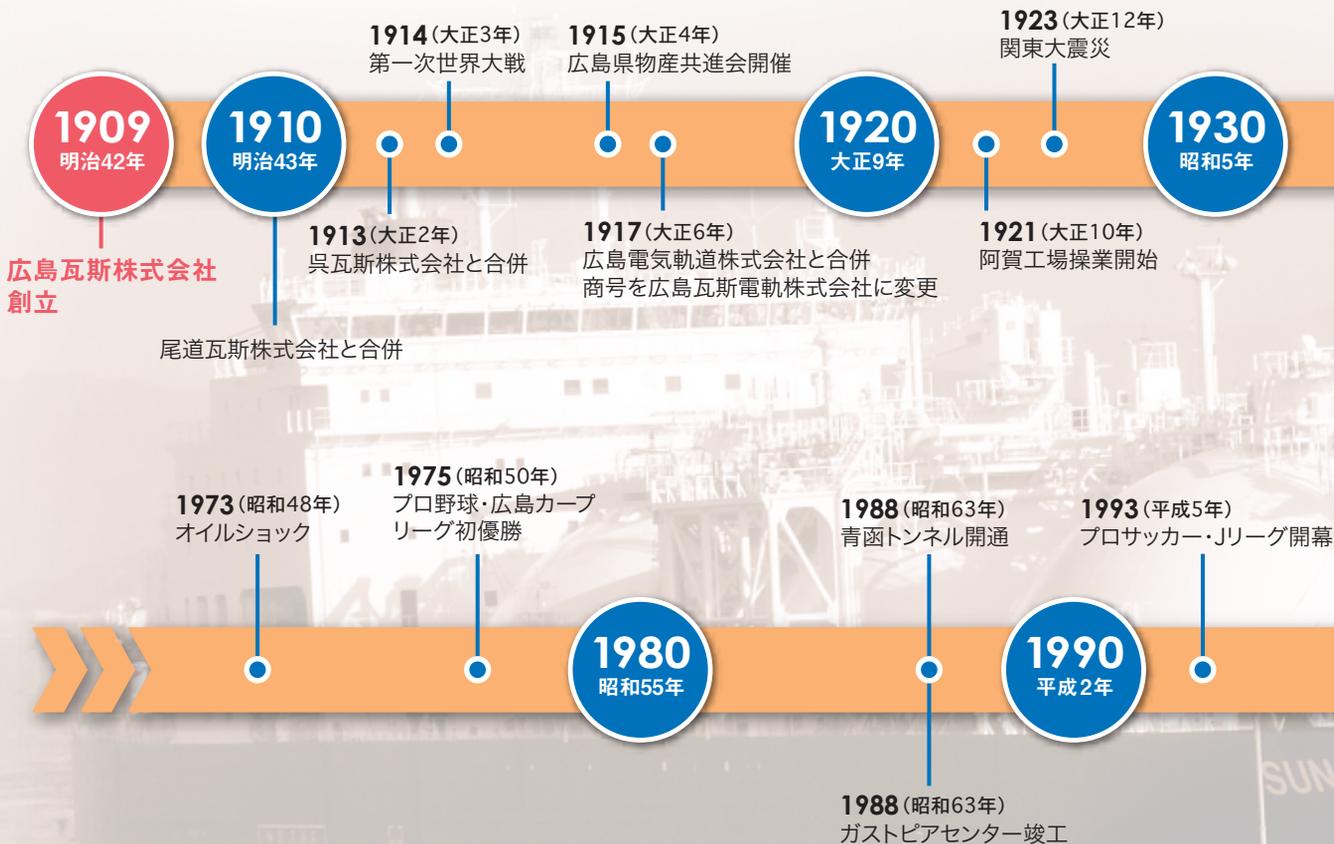
広島瓦斯開業記念絵葉書
[1910年(明治43)10月]《広島市公文書館所蔵》



当時の市内電車(広島市土橋付近)
[1910年(明治43)ごろ]



竣工当時の広島瓦斯電軌本社社屋
[1922年(大正11)9月]《広島市公文書館提供》



地先埋立後の海田工場
[1980年(昭和55)ごろ]



皆実町本社ビルの竣工
[1982年(昭和57)10月]



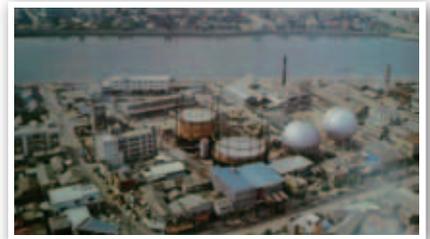
上空からのガストピアセンター
[1988年(昭和63)ごろ]



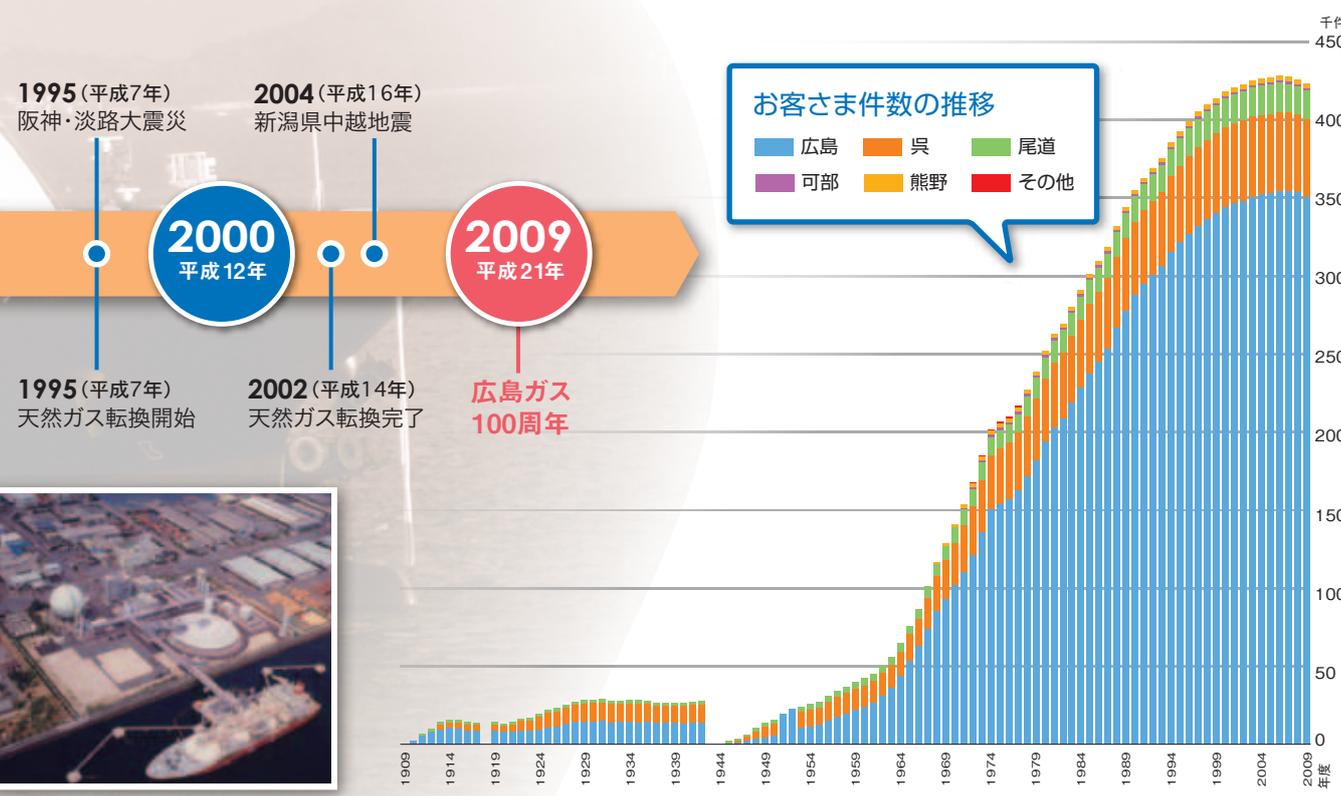
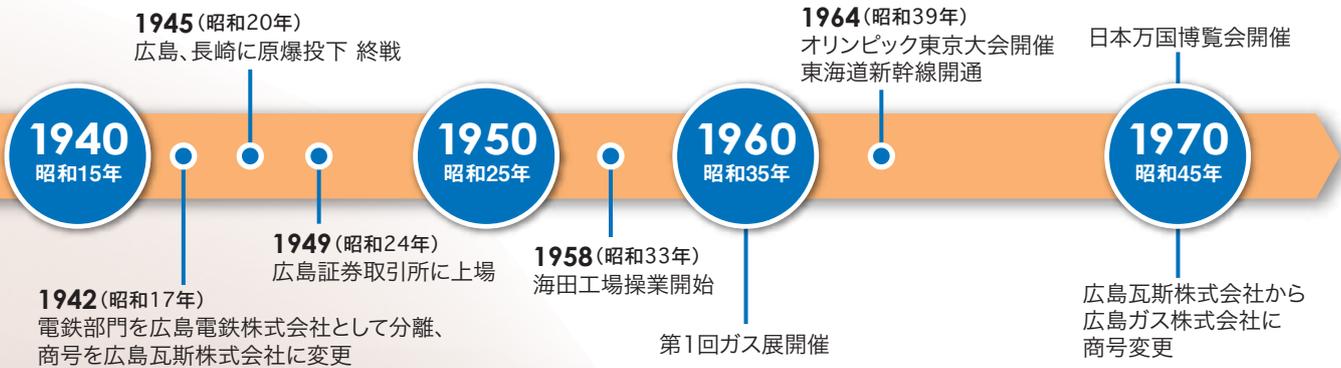
原爆で焼失した広島工場
[1945年(昭和20)8月]



操業開始当時の海田工場
[1958年(昭和33)11月]



本社および広島支店供給設備
[1968年(昭和43)ごろ]



廿日市工場の竣工
[1996年(平成8)3月]

出典:1915~1917年度、1919~1924年度は、「瓦斯事業要覧」(農商務省商工局編)による。
 (注1)1951~1952年度は店別内訳不明のため、総取付数のみを記載している。お客さま件数は、メーター取付数である。
 (注2)〔その他〕はみなし一般ガス事業の件数である。

新たなる100年のはじまりに

創立100周年記念事業

創立100周年を記念し、当社はさまざまな記念事業を行いました。それは、地域への広島ガスグループの感謝の証でもあります。当社は、2020年に向けた新ビジョン「Action for Dream 2020」のイメージを表現した新聞の全面広告を、次の100年のはじまりである創立記念日(10月30日中国新聞朝刊)に掲載しました。この新ビジョンの実現に向け、当社は新たなる100年のスタートを切りました。



『創立100周年記念式典』(2009年10月27日開催)

広島市の南区民文化センター大ホールに役職員が集結するなか、当社グループが持続的に発展していくための橋渡しとなる広島ガスグループ2020年ビジョン「Action for Dream 2020」が発表されました。



『広島ガス100年史』

(2010年3月刊行)

創立100年の節目の時に当社の今日までを記した「広島ガス100年史」を刊行しました。「戦前のガス事業」「エネルギー情勢の激変」「環境との調和」の3部構成で当社の創立以来100年の歴史を1冊にまとめました。



『第23回広響ホットコンサート』(2009年9月6日開催)

当社が創立100周年を迎えるにあたり、これまで支えてくださった皆さまに感謝の意味を込め、「広島ガス100年分の感謝のハーモニー」と銘打った、広島交響楽団による恒例のコンサート。初演からちょうど100年経過したラフマニノフのピアノ協奏曲をはじめ、華やかなバレエ音楽を中心にお届けしました。



『Siセンサーコンロなどを寄贈』(2010年3月完了)

地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて、広島市、廿日市市、呉市、尾道市、三原市、府中町、熊野町の公民館を対象に、計53施設、482台のSiセンサーコンロやガスオープン等を寄贈。Siセンサーコンロを気軽に体験していただくことで、ガスの良さを伝えていきっかけになればと考えています。



『桜の記念植樹』

(2010年2月)

広島市、呉市、三原市、尾道市に桜の苗木を寄贈。地域の皆さまから愛される大樹に育つことを期待しています。



100周年記念ロゴマーク

100周年への感謝をお伝えする意味を込めた記念ロゴ。向かい合う二人の笑顔は、私たちとすべてのお客さまとの強く結ばれた「face to face」をモチーフにしています。

《基本パターン》



《応用タイプ》



社用封筒



社用車



記念ロゴマークの活用
(2009年度に使用)

名刺



グッズ



各種イベント等でお客さまにお配りしました。

『広響ミニコンサートの開催』(2009年2月・3月)

地域のお客さまへの感謝の意を込め、100周年記念プレイベントとして、三原・尾道・呉の3市でミニコンサートを開催しました。



呉会場(金管十一重奏)



尾道会場(弦楽四重奏&フルート四重奏)



三原会場(弦楽十重奏)



『新ユニフォームを採用』(2010年3月)

新たな時代に進んでいく新しい広島ガスをイメージした新ユニフォームを採用しました。従来のものに比べ、作業性・機能性をアップ。ひと目で会社の社員とわかるように、これからのイメージ作りに一役買うことを期待されています。



『創立記念日に新聞全面広告を掲載』

(2009年10月30日中国新聞朝刊)

「地域とともに100年、これからも暮らしに一番近い広島ガス」とメッセージし、これまでの感謝の意を表すと同時に、新ビジョン「Action for Dream 2020」を表現したイラストで、今後の当社グループのあるべき姿を示しました。

広島ガスの概要

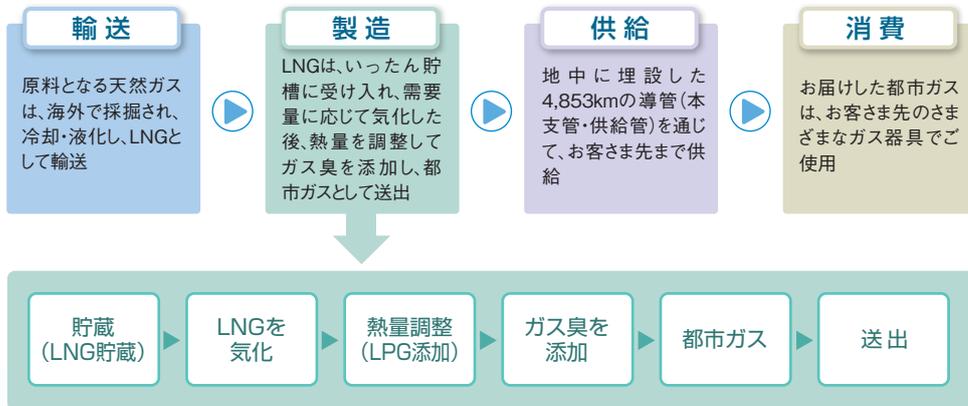
当社は、1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初のガス事業者となりました。以来、1世紀にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内5市とその周辺地域の42万2千件のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスをお届けしています。

■ 都市ガス事業の概要

主原料であるLNG(液化天然ガス)は、海外から輸入し、工場の貯槽(タンク)に受け入れます。

その後ガス需要に応じて工場で気化した後、地中に埋設した導管(パイプライン)を通じて、お客さまのもとにお届けしています。



■ 広島ガスの供給エリアと体制

供給エリア (広島県内5市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま件数
42万2千件

広島地区

お客さま件数 35万2千件

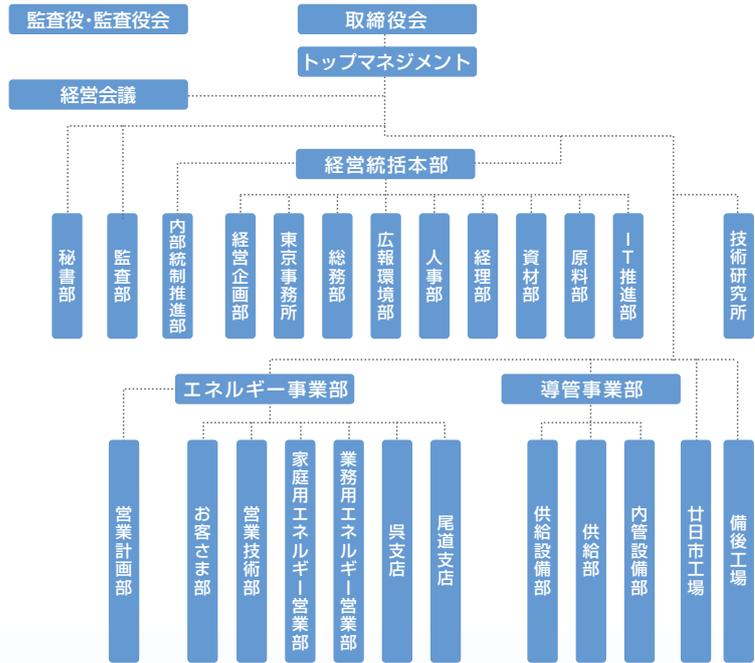




本社所在地 / 広島市南区皆実町二丁目7-1
 TEL 082-251-2151(代表)
 創立 / 1909年10月
 資本金 / 32億9千1百万円
 従業員数 / 651名
 事業内容 / ① ガス事業
 ② ガス器具の販売
 ③ 液化天然ガスの販売
 (2010年3月末現在)

■ 広島ガス組織図

(2010年6月24日現在)



広島ガスグループの概要

広島ガスグループ(当社、子会社31社および関連会社15社により構成)においては、主にガス、工事・器具、LPG、その他の4つの事業を行っています。

ガス事業

- 都市ガスの製造・供給および販売
- 他ガス事業者等への卸供給
- 広島ガス供給エリア外でのLPGを原料とした簡易ガス事業

工事・器具事業

- ガス機器の販売および関連するガス設備工事の施工
- LPG機器の販売、LPG配管工事の施工

LPG事業

- LPGの販売

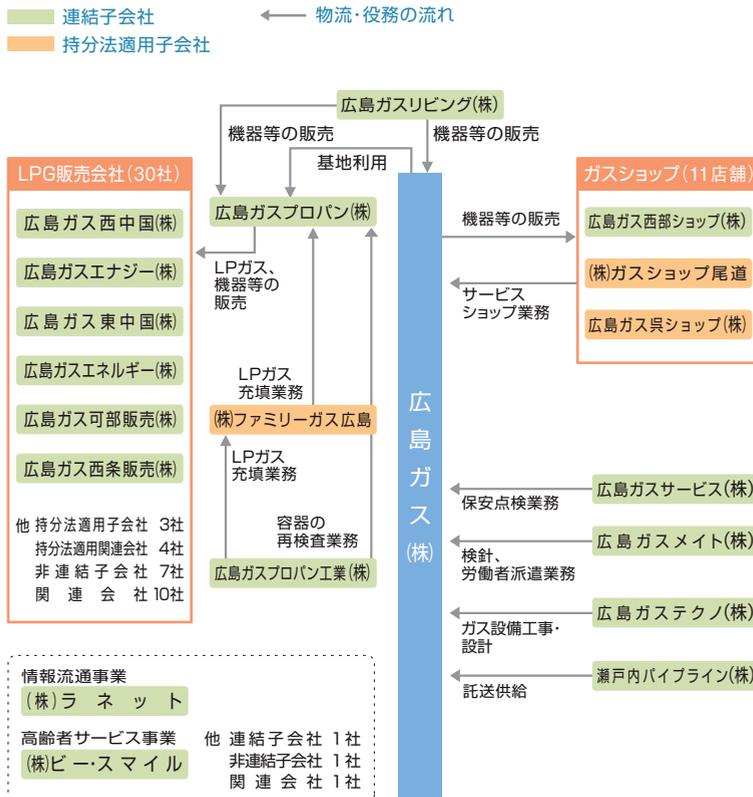
その他の事業

- 管工事を中心とした建設工事
- 保安点検業務
- 住宅関連機器等の販売
- 検針業務
- 労働者派遣業務
- 機械器具設置工事
- 産業廃棄物再資源化事業
- お客さまサービス業務
- LPG充填業務
- 容器の再検査業務
- 情報流通事業
- 高齢者サービス事業

■ 事業系統図

(2010年3月末現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて47社で構成されています。



■ 主要子会社の概要

(2010年3月末現在)

広島ガスプロパン株式会社

資本金/3億円 創業/1969年3月
 売上高/10,722百万円 従業員数/88名

広島ガスサービス株式会社

資本金/2千万円 創業/1972年4月
 売上高/1,672百万円 従業員数/85名

広島ガスリビング株式会社

資本金/2千万円 創業/1975年5月
 売上高/3,971百万円 従業員数/12名

広島ガスメイト株式会社

資本金/2千万円 創業/1975年4月
 売上高/1,034百万円 従業員数/177名

広島ガステクノ株式会社

資本金/8千万円 創業/1998年6月
 売上高/3,996百万円 従業員数/78名

株式会社ラネット

資本金/3千万円 創業/2000年10月
 売上高/617百万円 従業員数/5名

株式会社ビー・スマイル

資本金/5千万円 創業/2001年6月
 売上高/194百万円 従業員数/34名

瀬戸内パイプライン株式会社

資本金/1億5千万円 創業/2003年5月
 売上高/657百万円 従業員数/6名

トピックス

2009年4月

サハリンIIプロジェクトからの
LNG受入開始

P.18

2009年7月

家庭用燃料電池「エネファーム」の
本格販売開始

関連 1

2009年8月

次世代育成支援対策推進法に基づく
認定マーク「くるみん」取得

P.52

2009年10月

- 創立100周年記念式典を開催
- 広島ガスグループ2020年ビジョン
「Action for Dream 2020」を策定

2010年2月

当社開発（共同開発）
「工業用高効率省エネバーナ」が
（社）日本機械工業連合会会長賞受賞

P.34

2010年3月

本社ビルの省エネ化実施
（LED照明や太陽光発電パネル等導入）

P.35

P.38

2010年4月

深山英樹会長、田村興造社長による
新経営体制がスタート

関連 2

2010年4月

- ガスショップによる「ふれあい巡回」開始
- 「ガストピア五日市」オープン

関連 3

関連 1 「エネファーム」本格販売開始

7月23日、「エネファーム」の披露式典を開催し、中国経済産業局、広島県、広島市、（社）広島消費者協会、住宅メーカーなど約100名の皆さまにご来場いただきました。電気と熱を「自宅で作くり出せる」先進性と環境性を前面に出した提案活動を実施、販売初年度の2009年度成約台数は、22台となりました。



エネファーム披露式典



エネファームご採用物件

関連 2 新経営体制スタート

3月10日の取締役会において、深山社長の会長就任と田村新社長就任の決議がなされました。当社グループ経営体制の一層の強化と充実を図り、事業環境の変化に迅速に対応するため、4月1日より、深山会長と田村社長による代表取締役2名での新経営体制がスタートしました。



就任決定記者会見



田村社長(左)と深山会長(右)

関連 3 「ふれあい巡回」開始、「ガストピア五日市」オープン

2009年10月、ガスショップ8社体制を5社に再編した上で、広島ガスから36名が各ガスショップに出向し、既設市場の体制を整備しました。4月からは、全ガスショップにおいて、お客さまとのさらなる信頼関係の構築に向けて、ガス機器の無償診断等を行う「ふれあい巡回」をスタートしました。

また、広島西部地区の拠点となる体感型ショールーム「ガストピア五日市」を4月にオープンしました。



ふれあい巡回



ガストピア五日市(1F)

経営分野

エネルギーの安定的かつ安全な供給、
継続的な企業価値の向上をめざし、
事業基盤の強化を図るとともに、
経営の健全性・透明性の確保に努めてまいります。

当社は、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安全にお届けし、
安心して安全にお使いいただくという、公益性の高い事業を行っています。
この事業の確実な遂行こそが大きな「社会的責任」であるとの考えのもと、
エネルギーの安定・安全供給に資する取り組みを展開するとともに、
「お客さま」、「地域社会」、「株主の皆さま」をはじめとする
すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、
選ばれ続ける企業をめざしています。



広島ガスグループの経営体制

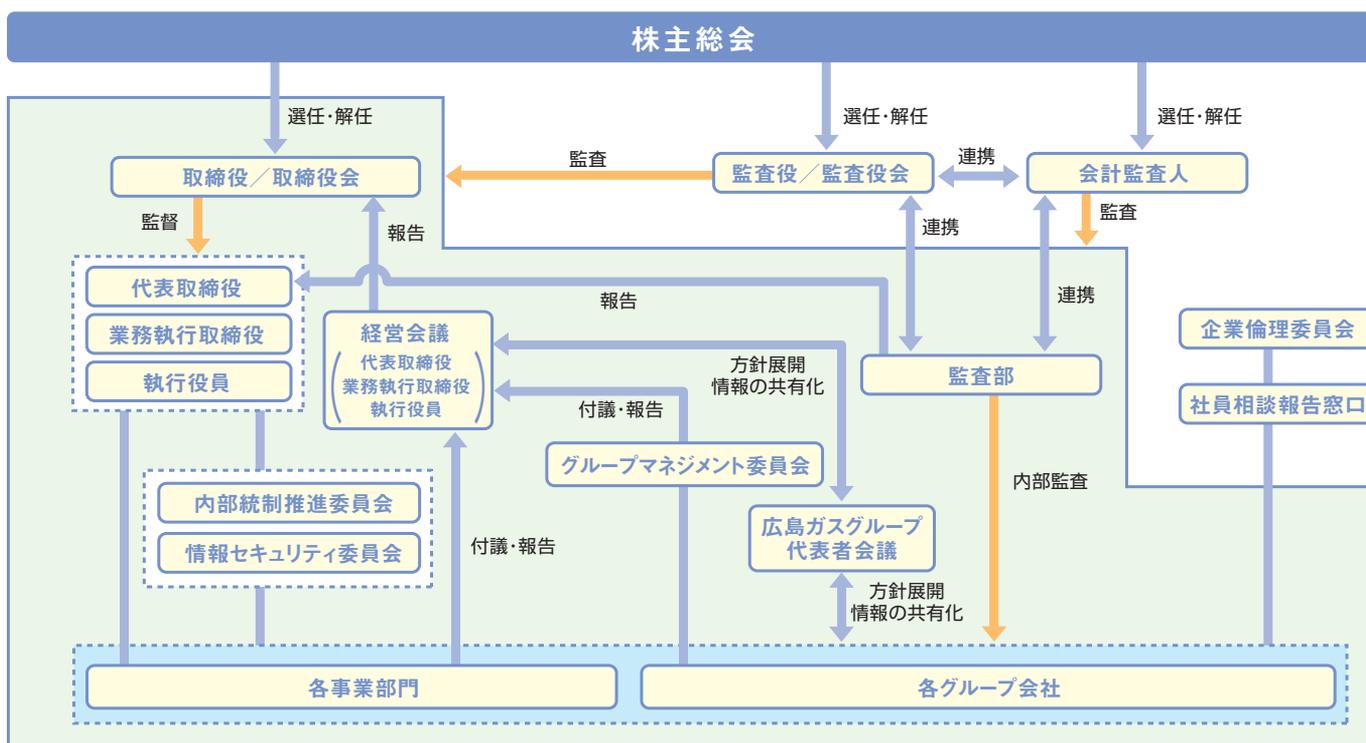
コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

●健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

当社は、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・

透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

●コーポレート・ガバナンス体制



●経営組織の構造

経営管理体制

「取締役会」は、社外取締役4名を含む11名で構成され、原則として毎月1回、また必要に応じて開催しています。取締役会においては、業務執行に関する会社の意思決定を行うとともに、業務執行権限のある取締役の業務執行を監督しています。また、グループ会社の経営状況の報告も行われ、経営全般の監督を行っています。

「経営会議」は、取締役執行役員6名、社内監査役2名、執行役員5名で構成され、原則として月2回、また必要に応じて開催しています。経営会議においては、経営全般の意思決定を行うため、重要な経営政策等についての協議および決定を行うとともに、当社の経営統括本部長が委員長を務める「グループマネジメント委員会」から業務の執行状況および経営状況の報告を受け、グループ各社の経営の監督を行っています。

監査体制

「監査役会」は、社外監査役2名を含む4名で構成され、各監査役は、監査役会が定めた監査方針および監査計画等に基づき実施する調査や取締役会等の重要な会議へ出席し、業務および財産の状況調査を通じて、取締役の業務執行を監査しています。また、子会社については、必要に応じて子会社から営業の報告を求めるとともに、業務および財産の状況を調査しています。

監査部は年間監査計画等に基づき、業務活動が法令、内部規程等に則り適正かつ効率的に実施されているか監査し、その結果を社長および監査役に報告するとともに、社内組織に助言・勧告を行っています。

また、監査役、会計監査人および監査部は、監査方針および監査報告等について定期的に会合を持ち、意見交換等を行うことにより、相互の連携を高めています。

内部統制

● 内部統制システムの構築に関する基本方針

当社グループの事業は、都市ガス、簡易ガスおよびLPGのベストミックスによる安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする極めて高い公共性と社会的責任を有しているものと考えています。

この社会的使命を遂行し、お客さま、株主、投資家、従業員等のすべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業価値の向上を図るため、「当社グループの業務の適正を確

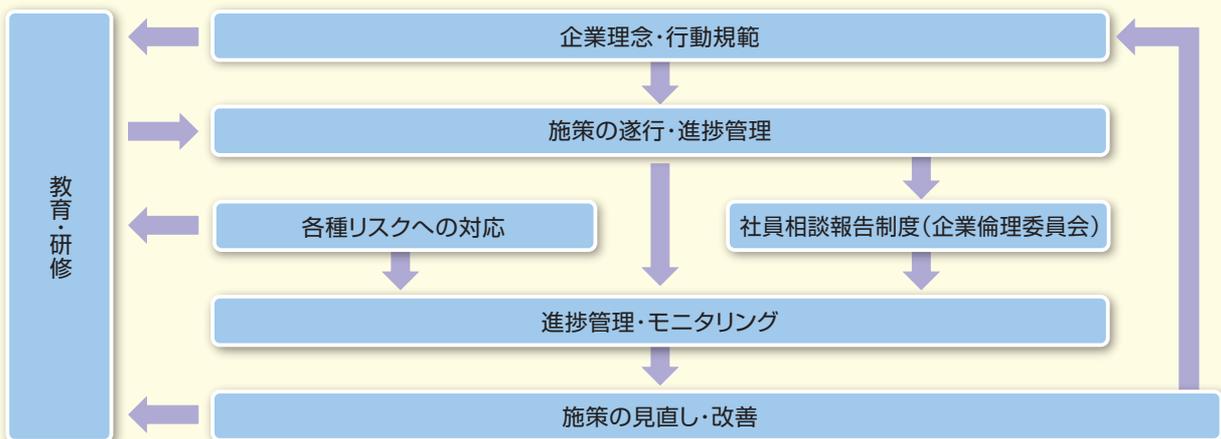
保するための体制(内部統制システム)の整備に関する基本方針」を2006年5月に取締役会で決議し、2009年10月に見直しを行い、それに基づいて、リスクマネジメント・コンプライアンス活動を推進しています。

広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

当社グループでは、広島ガスグループの経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、下記のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、グ

ループ役職員が法令や社会的規範を順守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。

【リスクマネジメント・コンプライアンス体制の循環サイクル】



● 行動規範の策定

当社グループでは、職務執行の基準となる各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」を策定するとともに、日常業務の中で遭遇するであろういくつかの場面に

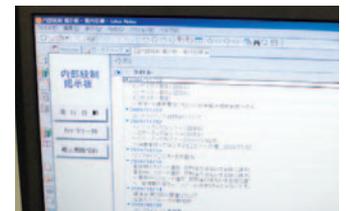
ついて、問題点を取り上げ解説した「事例に学ぶコンプライアンス」を研修教材として活用することなどにより、適正な業務遂行に役立てています。

● 継続的な教育

当社グループでは、定期的にコンプライアンス教育を実施することにより、当社グループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反等を許さない企業風土を醸成しています。さらに、グループウェア「内部統制掲示板」や「グループ広報誌(GAS LAND)」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布等、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。



コンプライアンス意見交換会



内部統制掲示板



グループ広報誌

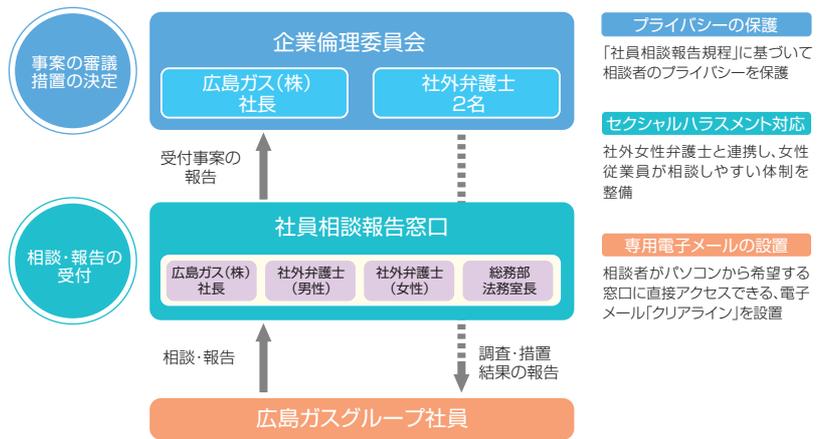


コンプライアンスカード

● 推進体制

当社グループでは、リスクマネジメント・コンプライアンス推進のための担当部署として、内部統制推進部を設置するとともに、内部統制推進委員会やグループマネジメント委員会を設置し、各部門で実施しているリスクマネジメント・コンプライアンス施策の推進状況を管理しています。また、社長および2名の社外弁護士からなる企業倫理委員会を設置し、コンプライアンス施策の決定ならびに制度の運用状況の把握と是正策について協議できる体制を整備するとともに、当社グループ社員が、直接、企業倫理委員会の委員等に相談・報告することができる「社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

■ 社員相談報告制度



● 各種リスクへの対応

自然災害等による
リスクへの対応

当社グループでは、ガス供給の安定性・安全性を阻害するような大規模な自然災害等によるリスクに対しては、予め規程化している「地震等防災対策要領」に従い、災害・事故発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制等を整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

情報漏洩等による
リスクへの対応

当社グループでは、情報漏洩等によるリスクに対しては、「情報セキュリティポリシー」に従って、情報セキュリティ委員会を中心とした体制を構築し、個人情報をはじめとした情報資産の取り扱いに関する社内啓発活動をはじめ、情報漏洩事故の発生防止に努めるとともに、発生時における情報開示等のあり方についても規程化し、機動的な対応を図っています。

情報
セキュリティ
ポリシー

広島ガス
情報セキュリティ理念

情報セキュリティ
規程

情報セキュリティ
細則

業務遂行上に
発生する
リスクへの対応

当社グループでは、業務遂行上に発生するリスクに対しては、各部門ごとにリスクを識別・分析・評価し、対策案を作成・実施することにより、リスク発生時の未然防止を図っています。また、リスク発生時には、内部統制推進部や内部統制推進委員会が中心となって、迅速な問題解決を図るとともに、リスク発生要因等を分析し、再発防止を図っています。

● モニタリング体制

当社グループでは、グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態等について、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセル

フチェック機能の強化を図るため、CSA活動（自己統制評価活動）への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

● グループ各社との連携

当社グループでは、「グループ人事交流方針」を策定し、この方針に基づいたグループ各社間での人事交流を実施することにより、リスクマネジメントや連携の強化を図っています。また、グループ各社への監督機能を図るため、「グループ

マネジメント委員会」を設置し、グループ各社より「広島ガスグループ会社運用規程」に基づいて上程される業務執行に関する事案について事前に審議を行うなど、リスクの未然防止を図っています。

広島ガスの都市ガス安定供給への取り組み

都市ガスは、電気・水道と並ぶ地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNGの調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動き等を注視しながら、さまざまな施策を講じています。

※各段階での安全対策の取り組み



LNG安定調達に向けた取り組み

● LNG調達先の多様化

ここ数年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、当社においても都市ガスの需要増に対応するため、従来からの調達先であるインドネシアに加え、マレーシアからのLNG調達を2006年1月より開始しました。マレーシアとは、2005年度から8年間の契約を締結しています。

また、2009年4月よりロシア連邦の「サハリンIIプロジェクト」からの受け入れも開始しました。「サハリンIIプロジェクト」は、LNGの生産規模が年間960万tという大規模なプロジェクトで、当社では2006年4月に売買契約書に調印しました。この契約により、最大で年間21万tのLNGを調達することが可能となっています。

この結果、LNG調達先が多様化でき、より一層の供給安定性向上が期待できます。

● LNG調達コストの低減

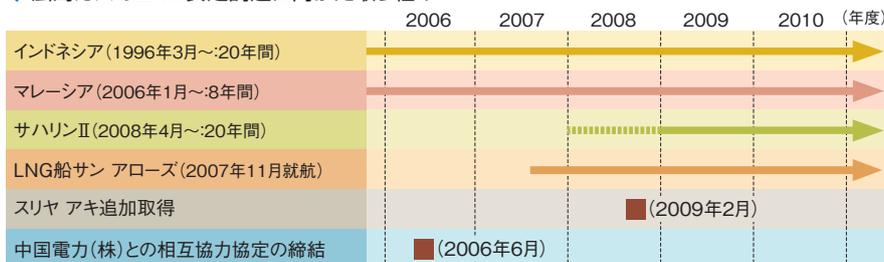
当社のLNG輸送は、インドネシアからは「スリヤ アキ」「スリヤ サツマ」、サハリンからは「サン アローズ」で行っています。2004年12月には「スリヤ アキ」の一部(約33%)を買い取り、さらに2009年2月には75%まで追加取得しました。サハリンは、日本から近距離で、比較的短期間に輸送できることから、効率的な原料調達が可能になります。本航路に就航する「サン アローズ」は、(株)商船三井と当社が共同保有しており、当社が主体的に運用することが可能となっているLNG船です。

これによって、より安定したLNG供給体制の確立と、将来にわたるLNG調達コストの低減が期待されています。

● 中国電力(株)との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、相互のLNGの調達・供給ならびに天然ガスの利用技術開発の分野において申し出がなされた場合、互いの協力を目的とする、相互協力協定を締結しています。

◆ 広島ガスのLNG安定調達に向けた取り組み



LNG船 サンアローズ

製造・供給設備の拡充



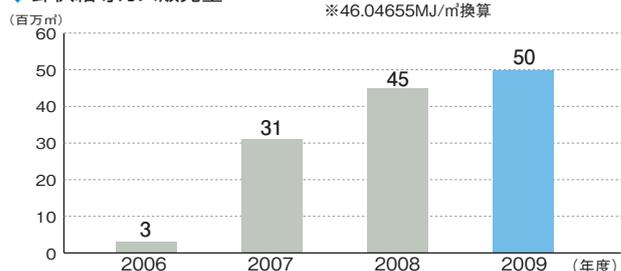
● 水島ステーションおよび導管を活用した卸供給の実施(瀬戸内パイプライン(株))

当社の連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備で、水島LNG基地から天然ガスを受け入れ、熱量調整等を行う設備「水島ステーション」および水島-福山間の導管(約40km)が2006年11月に完成しました。これにより、広島県東部等への天然ガス供給体制が整備され、2007年1月から当社が福山ガス(株)に卸供給を行っています。



水島ステーション(瀬戸内パイプライン(株))

◆ 卸供給等ガス販売量



2010年度事業計画の概要(中期経営計画含む)

新3カ年計画「新ビジョン実行中期経営計画」を実施していきます。

2010年度は、新ビジョン実行に向けた第一歩、すなわち「新ビジョン実行元年」となります。そこで、2010年度中期経営計画(2010～2012年度)を「新ビジョン実行中期経営計画」と位置づけ、新ビジョン実現に向けた施策を実行していきます。



経営方針

経営環境変化に的確に対応し、企業価値を向上させる

経営方針 1

ガス体エネルギー(天然ガス・LPガス)の普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する

【取組内容】

- ガス体エネルギーの普及拡大、エネルギーの高度利用および再生可能エネルギーとのベストミックスの推進
- 家庭用市場への経営資源の重点的な配分による営業活動の充実
- 業務用市場における、供給エリア外も含めた広域エリアでの需要開発の推進

経営方針 2

お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る

【取組内容】

- お客さま接点業務の充実等によるサービス品質の向上
- 電気や熱を含めたマルチエネルギー供給の推進
- 営業・サービス・保安活動推進のための基盤整備・支援活動の充実
- 保安対策の計画的実施と効率的な設備更新の実施

経営方針 3

グループ全体の収益性を高め、健全で強靱な企業グループを構築する

【取組内容】

- 財務体質、財務リスクマネジメントの強化
- 効率的な事業運営と統制環境の強化に資するグループ機能の見直し
- 経費・投資における効率的かつ効果的な投入

経営方針 4

公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1企業をめざす

【取組内容】

- コンプライアンスとリスクマネジメント活動の推進
- 人権活動の推進とコミュニケーションの向上
- 地域との共生、地域の活性化に資する活動の推進
- 低炭素社会の実現を含めた環境保全活動の推進

経営方針 5

グループの成長を担う人材の育成を推進する

【取組内容】

- 人材育成・開発、モチベーション向上策等の推進
- ワークライフバランスの推進
- グループワイドな人材マネジメントの実施

ガス需給計画(2010～2012年度)

(46.04655MJ/m³換算)

		実績		計画		
		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
お客さま件数(年度末)		422千件	423千件	423千件	423千件	
ガス販売量 (百万m ³)	家庭用	104	104	104	104	
	業務用	商業用	49	49	51	53
		工業用	263	263	263	262
		その他	34	34	34	36
	合計(卸供給等を除く)	451	451	452	456	
	卸供給等	50	53	58	60	
総合計	501	505	511	517		

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。 ※卸供給等は他ガス事業者への供給分です。

●家庭用

給湯暖房システムや暖房器等のガス機器拡販および家庭用選択約款(お得な料金メニュー)の普及拡大を図るとともに、個々のお客さまのニーズに沿った提案活動を一層強化していくことにより、家庭用販売量を維持していきます。

特に、既設のお客さまへの接点強化・サービス向上活動に取り組むとともに、家庭用燃料電池「エネファーム」や太陽光発電の普及促進等により、お客さまの望まれる製品・サービスの提供に努めていきます。

■家庭用重点機器販売、家庭用選択約款契約目標(2010年度)

給湯暖房システム(熱源機ベース)	2,600台
暖房器	3,500台
エネファーム(成約ベース)	100台
家庭用選択約款(お得な料金メニュー)	3,300契約

●業務用

お客さまの環境意識の高まりから天然ガスへの評価は高く、省エネ機器の提案等お客さまのニーズに沿った営業活動の推進により、新規物件の獲得および既設物件のリニューアル営業を展開していきます。

また、供給エリア内の深耕およびエリア外も含めた広域エリアの新規需要開拓について検討を進めていきます。

設備投資計画(2010～2012年度)

■設備投資計画

(単位:億円)

	実績	計画			
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	3年間合計
製造設備	2	2	2	5	8
供給設備	29	28	32	32	91
業務設備等	7	7	3	1	11
合計	37	36	36	38	111

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

天然ガスの普及拡大に対応し、安定供給体制を確保するために、製造設備および供給設備の増強・改修・入替等、製造・供給インフラの整備を計画的・効率的に行っていくとともに、経年本支管対策を一層強化します。

また、広域的な基幹インフラ整備についても中長期的な視点で検討を進めていきます。

保安対策の強化

お客さまに安心してガスをご利用いただくために、ガス事故防止に向けた保安対策を継続していきます。

項目	具体的内容
(1) 経年本支管対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● ねずみ錆鉄管: 2015年(日本ガス協会目標)までに取り替え実施 ● 白ガス管: 経年劣化が高いものから計画的に取り替え実施
(2) 経年埋設内管(お客さま資産)対策の計画的な実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄筋系集合建物等について、2015年(日本ガス協会目標)までの改修をめざし改善交渉を推進
(3) 給排気設備の改善、安全型機器への取り替え促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 消費段階での事故防止の観点から、法定点検・安全周知の強化に努めるとともに、給排気設備の改善および安全型機器への取り替え活動を推進
(4) 業務用厨房等における保安対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務用厨房等における一酸化炭素中毒事故の防止をめざし、「業務用換気センサー」の設置を推進

業績概要(連結)

6期ぶりの減収、2期連続の経常増益

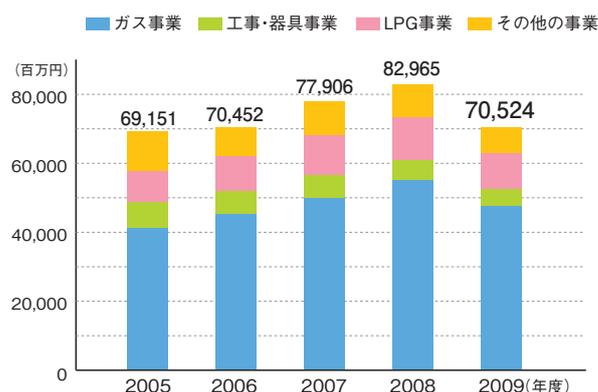
当期の売上高は、ガス事業およびLPG事業の売上高減少等により、前期に比べ12,440百万円減少の70,524百万円となりました。

利益につきましては、原油価格の下落に伴う原材料費の減少等により、経常利益は245百万円増加の3,106百万円、当期純利益は3,990百万円増加の2,083百万円となりました。

■ 売上高および利益の推移



■ 事業の種類別売上高の推移



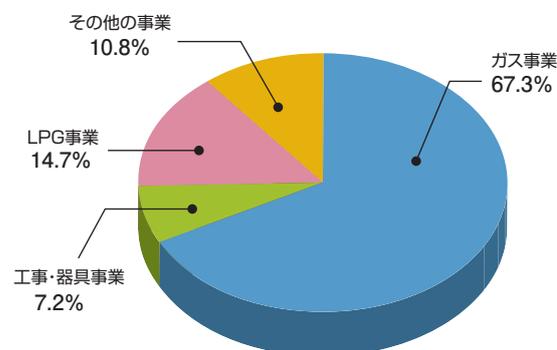
■ 事業の種類別セグメント情報(2009年度)

(単位:百万円)

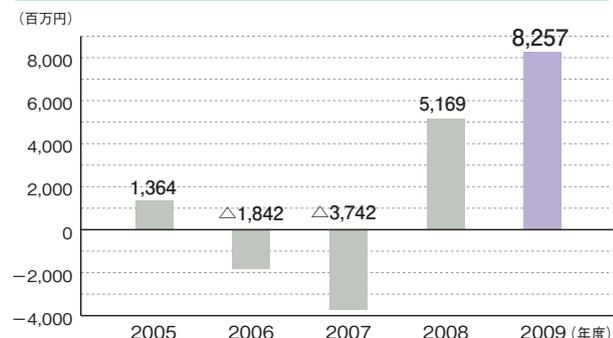
	売上高	営業費用	営業利益
ガス事業※	47,497 [△13.6%]	42,610 [△14.8%]	4,887 [△2.2%]
工事・器具事業※	5,341 [△17.7%]	5,274 [△15.4%]	67 [△74.0%]
LPG事業※	10,427 [△15.1%]	8,549 [△25.9%]	1,878 [+152.3%]
その他の事業※	10,710 [△14.1%]	9,479 [△17.6%]	1,231 [+26.0%]
消去又は全社	△3,452 [+5.3%]	1,543 [+9.4%]	△4,996 [+6.5%]
連結	70,524 [△15.0%]	67,456 [△16.4%]	3,067 [+34.1%]

※各セグメントの数値は百万円未満を切り捨て、従って各項目の総額がセグメント毎の合計と一致しない場合があります。
※〔 〕内は対前年比です。

■ 事業の種類別売上高構成比(2009年度)

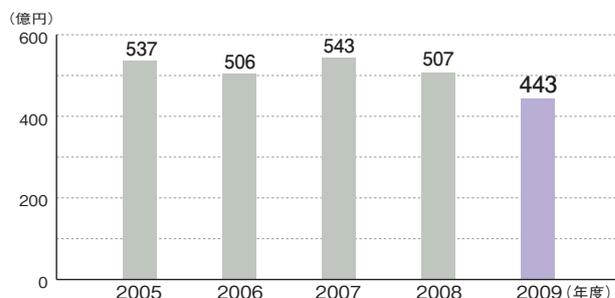


■ フリーキャッシュフローの推移



フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュフロー - (有形固定資産取得による支出額 + 無形固定資産取得による支出額)

■ 有利子負債残高の推移



各区分に属する
主要な製品の名称



- ※ガス事業…ガス導管を通じて供給する都市ガスおよび簡易ガス・他ガス事業者等への卸供給
- ※工事・器具事業…工事:お客さまガス設備 器具:給湯器、ガスコンロ等ガス器具
- ※LPG事業…ブタンおよびプロパン
- ※その他の事業…LPG充填、容器の再検査、検針・保安業務受託、労働者派遣業務、建設工事、住宅関連機器他

業績概要(単体) WEB

11期ぶりの減収、2期ぶりの経常減益

当期の売上高は、ガス販売量の増加はありましたものの、原料費調整制度に基づく販売単価の下落等により、前期に比べ8,434百万円減少の51,129百万円となりました。

その結果、経常利益は前期に比べ878百万円減少の1,467百万円となりました。また、当期純利益は特別損失の減少により1,359百万円増加の958百万円となりました。

■ 売上高および利益の推移



■ 区別売上高の推移



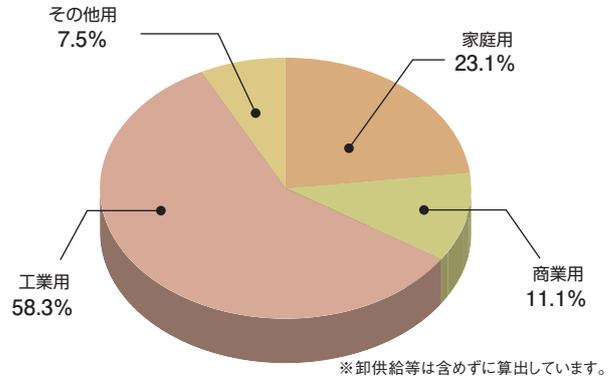
■ ガス販売量の推移と平均伸び率

(単位: 千m³、46.04655MJ/m³換算)

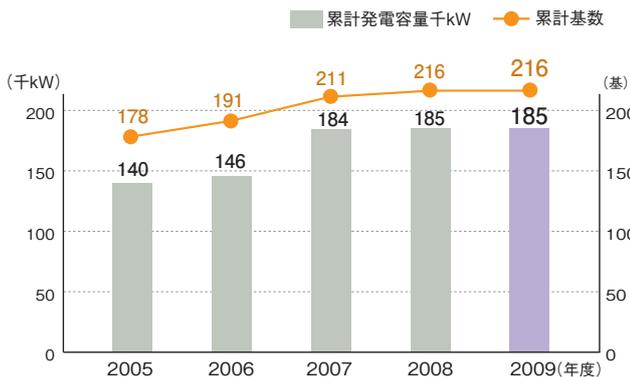
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	平均伸び率
家庭用	109,508	109,732	107,391	104,038	104,014	△1.3%
商業用	60,683	60,393	60,894	55,857	49,874	△4.8%
工業用	210,757	242,579	264,963	237,495	263,215	5.7%
その他用	36,954	36,646	37,401	34,537	34,094	△2.0%
計	417,903	449,352	470,651	431,928	451,199	1.9%
卸供給等	-	3,767	31,102	45,728	50,025	409.3%
総計	417,903	453,119	501,753	477,656	501,224	4.6%

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

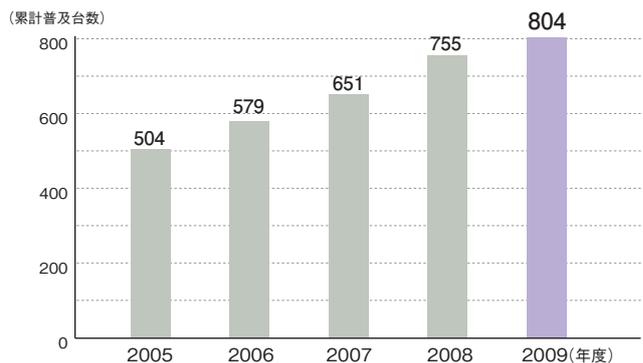
■ ガス販売量用途別構成比(2009年度)



■ ガスコージェネレーションシステム導入の推移(業務用)



■ 天然ガス自動車の累計普及台数(広島ガス供給エリア内)



環境分野



低炭素社会構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進してまいります。

2005年2月16日に正式発効した京都議定書。

2008年度からは、わが国の削減目標6%達成に向けた約束期間に入りました。

京都議定書の意義は、地球温暖化を防止し、

環境と共存しながら持続的に発展可能な社会を築くことにあります。

そのため、人類すべてが環境問題と真剣に向き合うことが求められているのです。

環境分野では、事業活動によって生じる環境負荷をいかにして軽減し、

低炭素社会・循環型社会に転換させていくために、

どのような行動を起こし、成果を上げているかをご紹介します。

クリーンエネルギー天然ガス

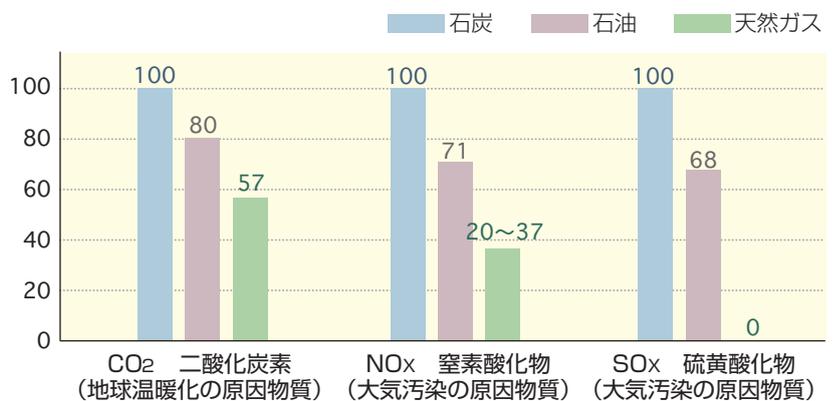
天然ガスを液体の状態にしたものをLNG(液化天然ガス)と呼びます。
 広島ガスは、LNGを主原料に都市ガスを製造し、導管を通じてお客さまへお届けしています。
 LNGは、インドネシア、マレーシアおよびサハラ以南で採掘された天然ガスを精製・液化し、専用船(LNG船)により受け入れ基地である廿日市工場へ運ばれています。

新時代の理想的な都市エネルギー「天然ガス」

地球にやさしく安定供給できる天然ガスを提供しています。

天然ガスは、炭素含有量の少ないメタンが主成分で、化石燃料のなかでも燃焼時におけるCO₂や大気汚染原因となる物質の排出量が少ないクリーンエネルギーです。

■天然ガスのクリーン性 石炭を100とした場合の発生量比較(燃焼時)



資料：Natural Gas Prospects (2010) 1986 IEA(国際エネルギー機関)
 火力発電所大気影響評価技術実証 調査報告書 1990.3 エネルギー総合工学研究所

天然ガスを主原料に都市ガスを製造

天然ガスは、工場でLNGを気化した後、熱量を調整しガスの臭いを付け都市ガスとして供給します。



■都市ガスの性状

成分およびその含有量(広島ガスにおける天然ガス供給区域)

成分		組成
名称	化学式	体積%
メタン	CH ₄	89
エタン	C ₂ H ₆	5
プロパン	C ₃ H ₈	4
ブタン	C ₄ H ₁₀	2

(注)ガス組成は代表値を示す。

ガス種 13A
 標準熱量 46.04655MJ/m³N (11,000kcal/m³N)
 比重(空気=1) 0.655
 CO₂ 排出係数 2.36kg-CO₂/m³N

■化石燃料の温室効果ガス排出量の比較

[ライフサイクルアセスメント(LCA)^{※1}]

(単位:g-CO₂/MJ)

区分	石炭	石油	LNG
生産	4.58	4.06	9.17
輸送	1.71	0.79	1.97
設備	0.11	0.08	0.04
燃焼	88.53	68.33	49.40
合計	94.93	73.26	60.58
指数 ^{※2}	100	77	64

資料：「LNGおよび都市ガス13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の将来予測」
 「エネルギー・資源」Vol.28 No.2(2007)

※1 LCA手法で化石燃料の採掘から燃焼までの温室効果ガス排出量をCO₂換算し総発熱量ベースで算出

※2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比

ライフサイクルアセスメント(LCA)とは
 原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法

環境保全活動の基本的な考え方・しくみ

広島ガスは、1993年度に環境基本理念および環境行動指針を策定し、環境マネジメントシステム(EMS)により全社で環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で推進することにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。



廿日市工場・備後工場・東広島製造所 ISO14001 認証取得

廿日市工場は、環境マネジメントシステムの一環として1999年度ISO14001の認証を取得(審査登録機関:財団法人日本ガス機器検査協会JIA-QAセンター)しました。2001年度には1999年度操業を開始した備後工場が、2009年3月には2006年度操業を開始した東広島製造所においても拡大審査に合格し、当社の都市ガス製造工場全て認証取得が完了しています。



ISO14001登録証・付属書

廿日市工場・備後工場・東広島製造所 環境方針

広島ガス株式会社 廿日市工場・備後工場・東広島製造所(以下「当工場」という。)は、地球環境にやさしい天然ガスを主原料にクリーンなエネルギー都市ガスを製造し、さらに廿日市工場においては都市ガスを使用した発電および送電を行っており、この都市ガスの安定供給および発電を通して地球環境保全へ貢献している。

当工場は、環境負荷も低く設定されており、都市ガスの製造工程における燃料と電力使用量の少ない操業、発電工程における排熱の有効活用などにより効率的なエネルギーの利用を行っているが、さらなる環境保全への貢献を図るため、広島ガスグループ環境基本理念をふまえ、環境行動指針を次のように定める。

環境行動指針

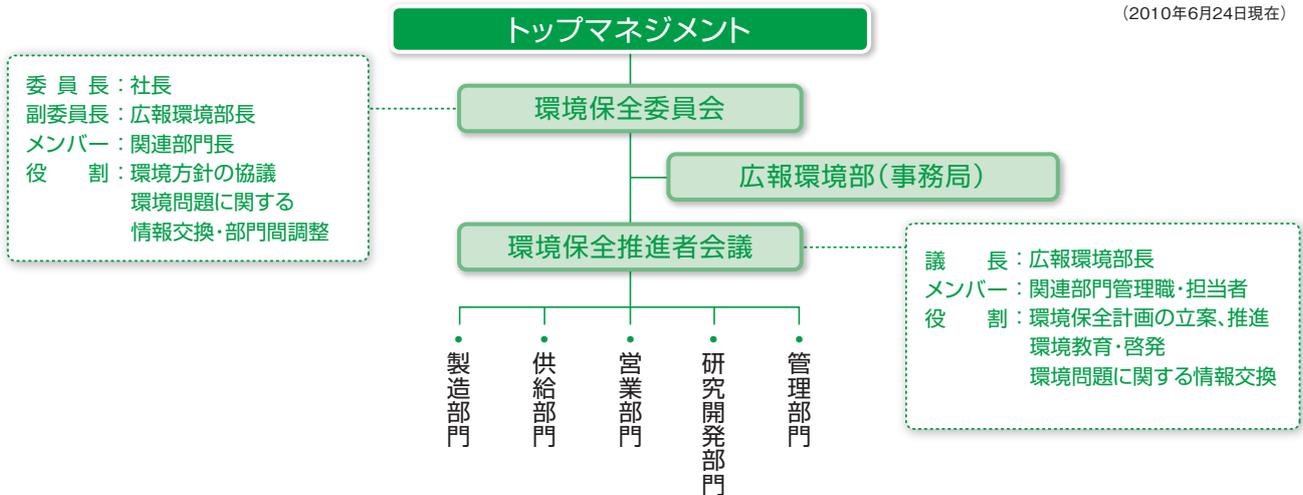
当工場で行う事業活動が環境に与える影響を把握し、ISO14001の要求項目に沿って環境目的・目標・プログラムを定め、定期的な見直しを行うとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善をはかる。

1 以下の項目について積極的に活動し、環境保全と汚染防止に努める。

- ① 都市ガスの品質および安定供給を確保する。
- ② 省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷の低減に努める。
- ③ 地域環境保全に貢献する。

2 当工場の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当工場が同意するその他の要求事項を順守する。

環境活動推進体制



環境保全活動の基本的な考え方・しくみ

環境マネジメントシステムの運用

◎PDCAサイクルに沿って環境保全活動をきめ細かく推進しています。

当社の環境マネジメントシステムは、従来から運用しているTQM(総合的品質経営)をベースに、環境保全活動をPDCAサイクルに沿って推進しています。環境保全活動を含めた中期経営計画の策定(P)、各部門改善活動の実施(D)、環境保全委員会等でチェック(C)、トップヒアリングでの見直し(A)等により、継続的なレベルアップをめざしています。



環境目標および実績

環境行動指針

1. お客さま先での環境負荷の低減

広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努める。



2. 事業活動における環境負荷の低減

広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物等の発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進する。



3. 地域環境保全への貢献

広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に、積極的に取り組む。



広島ガス長期環境目標

お客さま先でのCO₂排出量を、2010年度に18万t-CO₂以上抑制する。

当社事業活動(都市ガス製造時)におけるCO₂排出原単位を、2010年度に50g-CO₂/m³(販売ガス量)以下にする。

事務所(オフィス)におけるCO₂排出量を、各年55t-CO₂削減する。

低公害車(天然ガス自動車・燃料電池自動車等)を、2010年度に当社全車両に導入する。

産業廃棄物最終処分量(製造部門)を2010年度に1t以下にする。

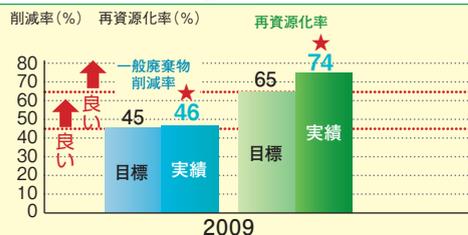
ガス導管工事から発生する掘削土量を、2010年度に従来工法に比べ35%以上削減し、再資源化率を70%以上にする。

2010年度に一般廃棄物の発生を、2001年度に対し50%以上削減し、再資源化率を65%以上にする。

各事業所において、地域と一体となった環境保全活動を実践する。

広島ガス中期環境目標

2009年度目標・実績



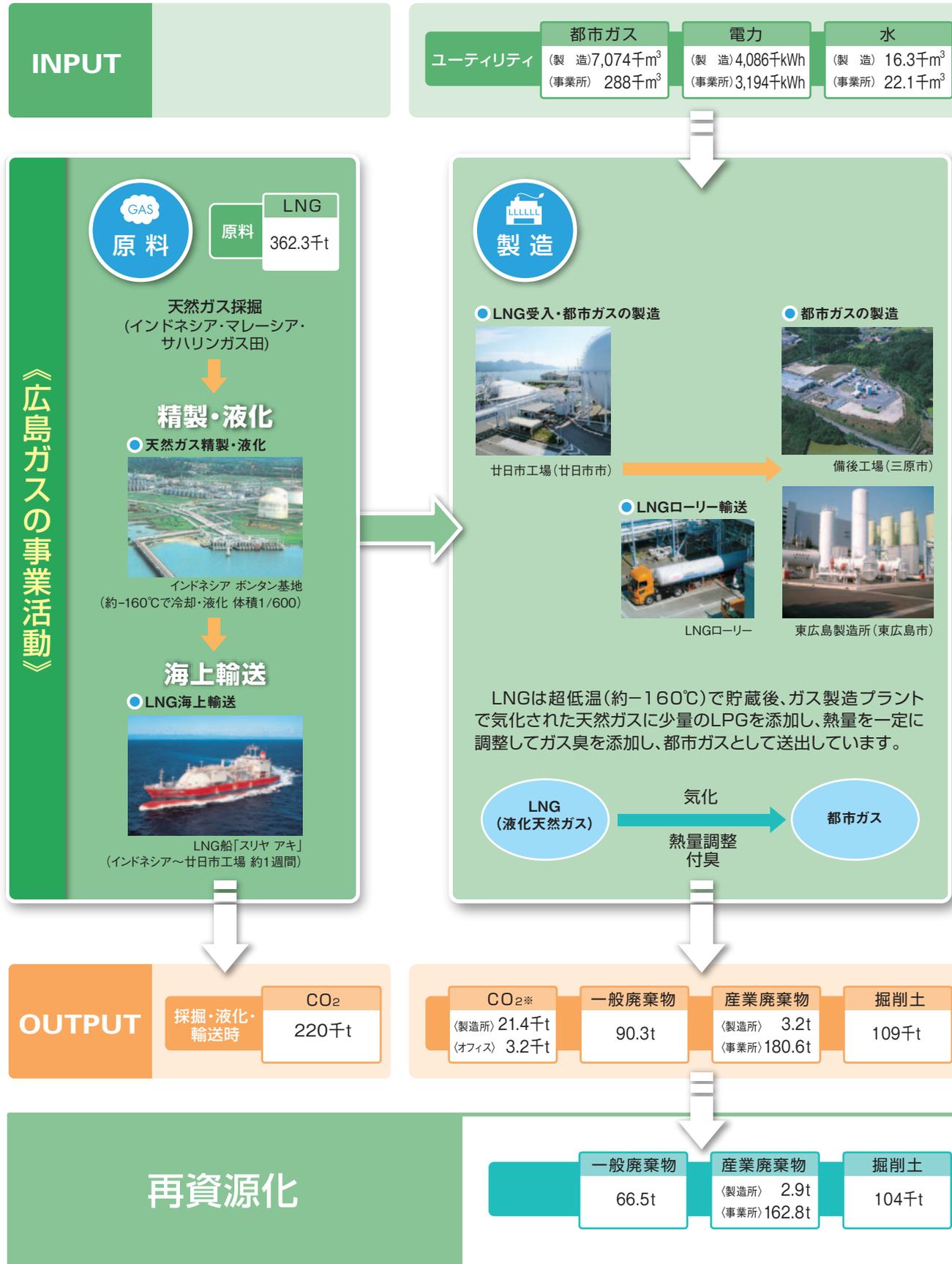
★目標を達成した項目のマークです。

環境保全活動を効果的に推進するために2002年度、環境行動指針に対応した広島ガス長期環境目標および3年間の中期環境目標を設定し活動を進めてきました。“事務所(オフィス)におけるCO₂排出量を削減する新たな目標”の追加を含め、2008年度以降を見直した2010年度までの長期環境目標を、2007年度に設定しています。

2010年度目標(長期目標)		広島ガス中長期推進施策(2007年度設定)
<p>18.0 2010(年度) 18万t-CO₂以上抑制</p>	P.33	<p>1.天然ガスの普及促進と環境特性に優れたシステム・機器の普及による環境負荷の低減 (1)天然ガスの普及促進と高効率利用の提案 (2)低NOx機器の普及促進 (3)天然ガス自動車の普及促進</p> <p>2.資源の再生利用促進 (1)使用済みガス機器の回収・再資源化の促進 (2)エコデザインガス機器の導入促進</p> <p>3.その他お客さま先での環境負荷低減に関する事項</p>
<p>50 2010(年度) 50g-CO₂/m³ (販売ガス量)以下</p>	P.35	
<p>55 2010(年度) 55t-CO₂以上削減</p>	P.35	
<p>100 2010(年度) 当社全車両に導入</p>	P.34	
<p>1 2010(年度) 1t以下</p>	P.35	
<p>35 70 2010(年度) 掘削土量削減率 35%以上 再資源化率 70%以上</p>	P.36	
<p>50 65 2010(年度) 一般廃棄物削減率 50%以上 再資源化率 65%以上</p>	P.35	<p>1.エネルギーの有効利用による環境負荷の低減 (1)製造所におけるエネルギー有効利用への取り組み (2)事業所におけるエネルギー有効利用への取り組み (3)当社車両への天然ガス自動車等の導入促進</p> <p>2.資源消費の低減と廃棄物排出の最小化 (1)産業廃棄物の発生抑制と再資源化 (2)一般廃棄物の発生抑制と再資源化 (3)紙の使用量削減と再生利用の促進 (4)ガス工事における排出物の削減と再生利用の促進 (5)グリーン購入の促進</p> <p>3.環境マネジメントの充実 (1)社内における環境啓発活動の充実</p> <p>4.その他事業活動における環境負荷低減に関する事項</p>
		<p>1.地域の環境保全活動への参画 (1)地域環境保全活動への参加 (2)各種フェア等への出展による啓発活動の推進 (3)環境保全推進団体への参画</p> <p>2.その他地域環境保全への貢献に関する事項</p>

事業活動における環境負荷（2009年度実績）

2009年度の広島ガスの事業活動における主な環境負荷についてまとめました。



※購入電力CO₂排出係数は、中国電力株実排出係数(0.674kg-CO₂/kWh)を使用

都市ガスを製造・供給するために、主原料としてLNGおよび熱量調整用のLPG、ユーティリティとして都市ガス・電力・水など、ガス導管としてPE管、鋼管などを使用しています。

エネルギーの使用によりCO₂が発生しますが、クリーンエネルギー天然ガスの優れた特長を活かし、他燃料から天然ガスへの転換、ガスコージェネレーションシステムおよび高効率ガス機器の普及等を推進することで、環境保全に貢献しています。



導管(パイプライン) 総延長4,853km

● 都市ガスの貯蔵



ガスホルダー

● 導管工事



導管埋設工事

● 圧力等遠隔監視制御



中央監視制御室(本社)

● 都市ガスの供給



ガス管橋

PE管

6.5t

铸铁管・鋼管

132.7t



ガス販売量 5億1百万立方メートル

● 商業用・公用 (ホテル・ビル・学校等)



厨房、給湯、空調等

● 工業用(工場等)



ガスコージェネレーションシステム、
加熱、空調等

● 家庭用(給湯・空調等)



厨房、給湯、空調等

● 天然ガス自動車



トラック・バス・乗用車等

お客さま先

CO₂
1,183千t

PE管

6.5t

铸铁管・鋼管

132.7t

《減量化・再資源化率》



環境保全活動におけるお取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリー等の役務提供者および購買先に対して、環境保全活動(サプライチェーン・マネジメント等)への協力を依頼しています。

- 環境保全に関する覚書
- 安全環境教育
- 協力依頼カード

環境会計

広島ガスでは環境マネジメントの一環として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を可能な限り定量的に把握する環境会計の取り組みを1999年に廿日市工場で開始し、2002年度から本社へ拡大し集計しています。環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした(社)日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」(2002年10月改定)に基づき集計しました。

環境保全コストについて

「投資額」と「費用額」に分類して集計しています。

- ◆環境保全コストは、環境への負荷を低減させること等を目的とした「投資額」と「費用額」としました。
- ◆都市ガス事業における「保安」や「安全」活動や「営業」に関わるコストは、環境負荷の低減につながる側面もありますが、活動自体が事業の根幹に関わるものであり、環境保全コストとしていません。

効果算定について

「環境保全効果」と「経済効果」に分けています。

- ◆効果は、環境負荷自体を低減させる物量効果(=環境保全効果)と、企業損益を経済的に向上させる効果(=経済効果)に分けています。
- ◆環境保全効果は、設備の稼働状況等により変動する可能性が高いので、「原単位方式」による公表を基本としています。
- ◆経済効果は、明確に算定できる効果とし、リスク回避等、推定や仮定を要す「みなし効果」は検討段階にあることから算定していません。

2009年度集計結果

●環境保全コスト

(単位:百万円)

環境保全コスト項目			投資額		費用額		
主な内容(例)			2008年度	2009年度	2008年度	2009年度	
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音等の防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等	0	0	7	13	
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オン層保護等のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等(主要内容:廿日市工場ガスロージェネレーション稼働)	14	157	38	96	
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理等のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等	0	2	55	64	
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、EMS構築、環境対策組織等のコスト	0	0	23	23	
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化等(主要内容:旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	20	3	45	47	
お客さま先	環境R&D	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト		9	5	38	36
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表等		0	5	25	23	
合 計			44	172	231	302	

※2009年度費用額のうち減価償却費は、131百万円計上されています。 ※環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものです。
※算定期間:2009年4月~2010年3月 算定範囲:広島ガス株式会社

- 1 自社業務の地球環境保全における投資額は、本社ビルおよびガストピア五日市の太陽光発電設備、本社ビルペアガラス、本社ビルおよび各支店、工場へのLED照明設備の導入等により増加しました。
- 2 社会貢献活動における投資額は、ガストピア五日市の緑化により増加しました。
- 3 自社業務の公害防止における費用は、廿日市工場の付臭設備の活性炭取り替え等により増加しました。
- 4 自社業務の地球環境保全における費用は、太陽光発電設備およびLED照明設備の特別償却により増加しました。
- 5 自社業務の資源循環における費用は、ガス導管工事用機器の減価償却、アスファルトおよびコンクリートのリサイクルにより増加しました。

●効果

■ 環境負荷水準

環境負荷水準	2008年度	2009年度
NOx原単位(製造) (mg/m ³)	43	41
CO ₂ 原単位(製造) (g-CO ₂ /m ³)	47	47
CO ₂ 原単位(オフィス) (g-CO ₂ /m ³)	6	6
掘削発生土外部排出量 (千t)	14	5
産業廃棄物発生量 (t)	190	184
一般廃棄物発生量 (t)	83	90
(参考値) お客さま先でのCO ₂ 抑制量 (千t-CO ₂)	181	188

■ 企業内経済効果

(単位:百万円)

経済効果	2008年度	2009年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	246	265
有価物の売却額	0	0
その他 (燃料ガス使用量削減による経費削減額)	137	148
その他 (電力使用量削減による経費削減額)	0	0
合計	383	413

■ 全社設備投資額における環境設備投資額比率

	2008年度	2009年度
全社設備投資額 (百万円)	5,520	3,708
環境設備投資額比率 (%)	0.8	4.6

■ 全社総売上高における環境費用額比率

	2008年度	2009年度
全社総売上高 (百万円)	59,564	51,129
環境費用額比率 (%)	0.4	0.6

1 ガス導管工事で排出された土砂の再資源化方法を改善することで“掘削発生土の外部排出量”が大幅に減少し、“経費削減額”も大幅に増加しました。

2 一般廃棄物の発生量は約8%増加しましたが、産業廃棄物の発生量は約3%減少させることができました。

環境効率について

当社は、環境保全活動の取り組みの評価の一つとして、企業活動と環境保全がバランスし両立している状況を把握する指標である環境効率を採用しています。一般的に“経営指標等を環境負荷総量で割った数値”で表しますが、当社は「ガス販売量」を「CO₂発生量」で割った値としています。

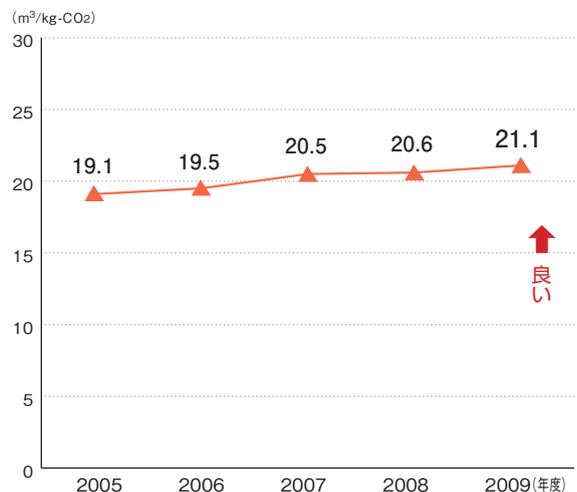
2009年度の環境効率は、前年度よりも、2.4%向上しており、環境への取り組みは順調であると評価できます。

$$\text{環境効率} = \frac{\text{ガス販売量}}{\text{CO}_2\text{発生量(製造+オフィス)}}$$

■ 環境効率試算結果

項目	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
ガス販売量 (百万m ³)	417	453	501	477	501
CO ₂ 発生量(製造) (千t-CO ₂)	19	20	21	20	21
CO ₂ 発生量(オフィス) (千t-CO ₂)	3	3	3	3	3
環境効率 (m ³ /kg-CO ₂)	19.1	19.5	20.5	20.6	21.1

■ 環境効率



※1 2004年度より天然ガスを燃料としたガスコージェネレーションシステムを稼働しましたが、経営指標をガス販売量に限定しているため、電力発電(売電)に伴い発生するCO₂量は除いています。
 ※2 購入電力のCO₂排出係数は過去のデータとの比較のため、0.555(kg-CO₂/kWh)を使用しています。

お客さま先での環境負荷の低減

天然ガス高効率利用の促進



家庭用高効率機器の普及

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム 「エネファーム」(累計成約台数 22台)

天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素を燃料電池で化学反応させて発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。



エネファーム (700W)



ご家庭に届くエネルギー利用率

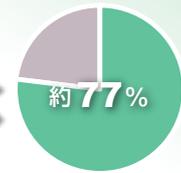
◎従来のシステムによる発電 [1次エネルギー(石炭・石油・天然ガスなど)]



《エネルギー利用率》



◎マイホーム発電 [1次エネルギー(天然ガス)]



※HHV(高位発熱量)基準により算出 ※出典:エネルギーの使用の合理化に関する法律

家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム 「エコウィル」(累計販売台数403台)

小型ガスエンジンで発電機を回して発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。



高効率給湯器「エコジョーズ」 (累計販売台数8,312台)

今まで捨てていた排熱をコンデンシング技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器。



高効率給湯器エコジョーズ

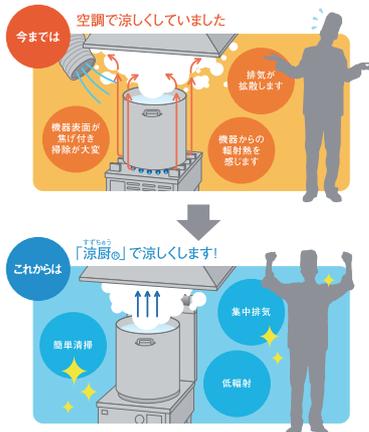
業務用高効率設備・機器の普及

● 涼しい厨房機器「涼厨®」



「涼厨®」は大阪ガス株式会社の登録商標です。

ガスの炎は美味しい料理のなよりのスパイス。しかし、料理する人にとって、厨房の暑さは悩みのタネです。そこで、広島ガスでは暑さの原因を根本から考えた「涼厨®」(低輻射型ガス厨房機器)をご提案しています。



「涼厨®」は、ガスならではのメリットを活かし、涼しく快適な厨房環境を実現させています。

● ガスコージェネレーションシステム普及の推移(業務用)



広島工業大学 新講義棟 「三宅の森 Nexus21」

ガスコージェネレーションシステム

都市ガスを燃料としてガスタービンやガスエンジン・燃料電池などで発電を行い、その時に発生する排熱を有効利用し、冷暖房・給湯等を行うシステムです。投入したエネルギーをムダなく使うことができるため、省エネルギー効果が大きく、CO₂発生量の抑制にも効果があります。

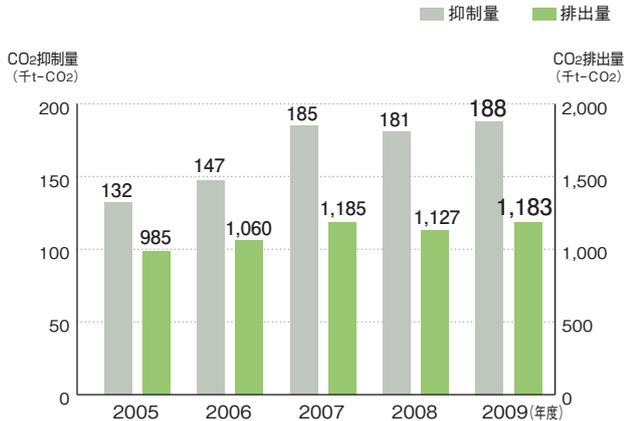
● その他環境特性に優れた設備・機器の普及

- ・低NO_x機器の普及
- ・ガス吸収式冷温水機によるオゾン層の保護
- ・エコデザイン機器の普及

天然ガスの普及促進によるCO₂発生抑制

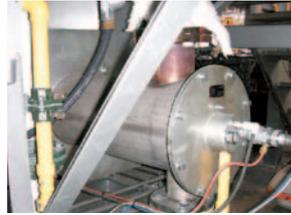
天然ガスおよび高効率ガス機器の普及等により、CO₂発生量の抑制に貢献しています。

■ お客さま先でのCO₂排出量・抑制量



環境関連新技術の研究開発

技術研究所では、環境に優しい天然ガスの普及により、人と環境とエネルギーの調和した快適な暮らしをお客さまにご提案するため、エネルギー高効率利用および再生可能エネルギーの利活用等に係わる技術開発を積極的に進めています。



工業用高効率省エネバーナの開発
(2008年(株)日本ガス協会技術賞受賞)
(2010年(株)日本機械工業連合会主催
優秀省エネルギー機器表彰会長賞受賞)



バイオガス専燃コージェネレーションシステムの開発
(ロータリーエンジン)

天然ガス自動車の普及促進



天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘されている黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫黄酸化物を排出せず、地球温暖化の原因となるCO₂もガソリン車に比べて低く抑えることができます。

● 街で活躍する天然ガス自動車



路線バス

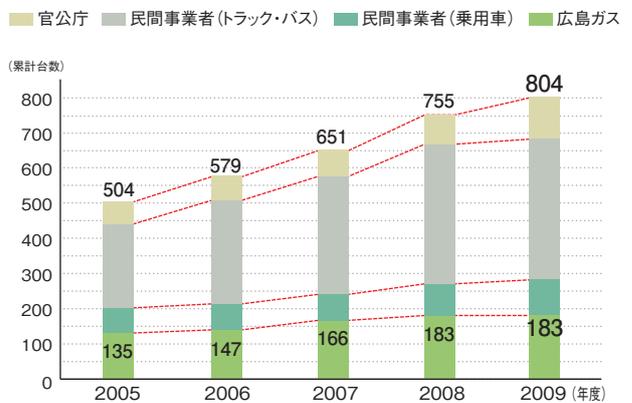


トラック



天然ガス自動車の普及状況

■ 天然ガス自動車累計普及台数(広島ガス供給エリア内)



◆ 全国の天然ガス自動車および天然ガススタンドの普及状況

(2010年3月末現在)

天然ガス自動車数 全国………38,861台
広島地区………804台(内数)

天然ガススタンド(急速充填所) 全国………342カ所
広島地区………9カ所(内数)

事業活動における環境負荷の低減

製造所におけるエネルギー有効利用

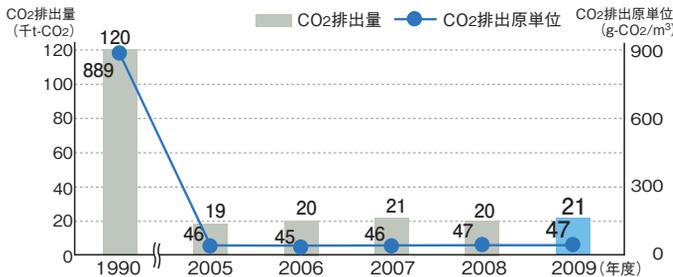
2004年9月、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、発電した電力を廿日市工場で使用するとともに、約10kWの余剰電力はPPS(特定規模電気事業者)*等に卸売供給をしています。また、排熱はLNG気化用熱源としての活用により燃料が削減できると同時にCO₂も削減する等、エネルギー有効利用とCO₂排出量の抑制が一層進んでいます。

2009年度のCO₂発生量は、天然ガス転換による効果と合わせて、1990年度に比べ9.9万t、82.5%削減できました。



ガスコージェネレーションシステム(廿日市工場)

■ 都市ガス製造におけるCO₂排出量



● 廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- ・発電容量 11,000kW (高効率天然ガスエンジン5,500kW×2基)
- ・送電容量 最大10,000kW (特別高圧22kV)
- ・総合効率 約78% (発電効率42%、熱回収効率36%)
- ・運転形態 DSS(Daily Start & Stop)運転(昼間運転)

※PPS(特定規模電気事業者)

電力の自由化対象のお客さまに対し、電力会社の送電線等を通じて電力の小売を行う新規参入者

事業所におけるエネルギー有効利用

エコオフィス活動

事務所におけるCO₂排出抑制、廃棄物の削減等を推進しています。

エコオフィス活動

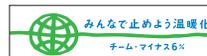
- 1.エネルギーの有効利用：電気の節約、水の節約、エコドライブの推進
- 2.資源消費の低減：紙の使用削減と再資源化、グリーン購入の促進
ノーマイカーデー運動への参加
(広島市 マイカー乗るまあデーなど外部主催分)
ケルビス・ウォームビズの実施
マイ箸・マイカップ
- 3.廃棄物の発生抑制と適正処理：分別強化、リサイクル推進
- 4.「チームマイナス6%」への参加：地球温暖化防止に取り組む国民運動
「チーム・マイナス6%」へ参加し、全社員がCO₂削減に取り組んでいます。

省エネ機器の導入

2008年度本社会議室に試験導入したLED照明を、2009年度から本格導入を開始しました。今後3か年をかけて全事業所に導入し、省エネを推進していきます。



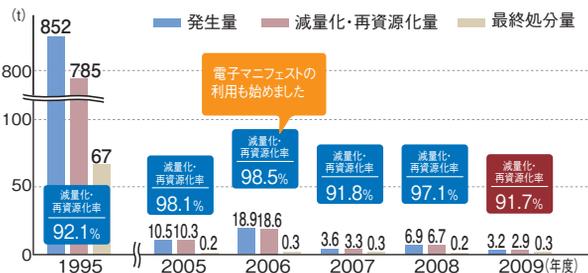
LED照明(本社ビル1Fロビー)



産業廃棄物の削減と再資源化

原料を天然ガスに転換したことにより、製造所からの産業廃棄物排出量は激減しました。

■ 産業廃棄物(製造所)の減量化・再資源化



- ◆ 廃蛍光管を再資源化しリサイクル蛍光管として再利用
- ◆ お客さまから回収した使用済みガス機器の再資源化
- ◆ 電子マニフェスト採用(2007.3~廿日市工場)

一般廃棄物の削減と再資源化

当社では、エコオフィス活動による一般廃棄物の削減と再資源化を推進しています。

■ 一般廃棄物の発生量と外部排出量



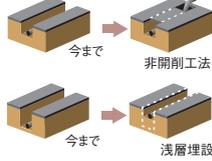
- ◆ すべての紙ごみ(機密文書、再生可能な紙ごみ)の再資源化、用紙使用量の削減(帳票電子化等)
- ◆ 割り箸を製紙会社に送り再資源化
- ◆ 生ゴミ処理機により、ゴミの減量化・肥料化

ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進等によりアスファルト・コンクリート・土砂等の排出量の削減に努めています。

ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化

- ◆非開削工法による掘削土の削減
道路を掘らないでガス導管を埋設する工法
- ◆浅層埋設による掘削土の削減
道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法
- ◆掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用
ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用



これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。

掘削土処理状況

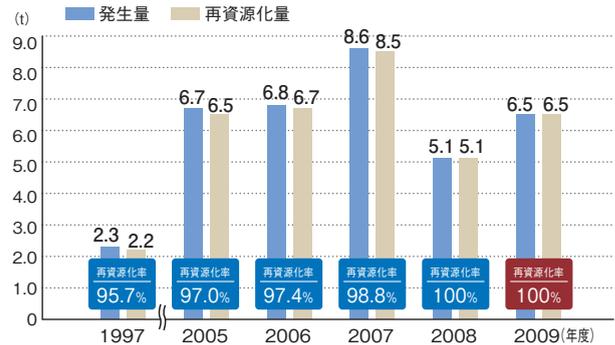


ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン管(PE管)を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



PE管廃材の再資源化量



環境に関する規制遵守

2009年度、環境に関する法令違反や罰則はありませんでした。

化学物質の管理



◆アスベスト使用状況調査とその対応

当社および関係会社5社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備等における使用状況を調査しました。

その結果、健康被害はありませんでしたが一部使用が確認され、その内、吹き付け部が露出している1カ所のアスベスト除去を2005年10月に完了しました。調査結果は2005年9月に公表するとともに、適切に対応を行っています。

◆PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理

トランス、コンデンサー等に使用されていたPCBは保管場所を決め集積・管理し、行政へ管理状況を報告しています。

◆PRTR法^{*}への対応

化学物質の取扱い量は、天然ガス転換により激減し、2009年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

^{*}PRTR法

特定の化学物質を規定量以上取扱った際に排出・移動量を届け出る事を定めた法律

省エネ法^{*}・地球温暖化対策推進法への対応

当社全事業所での2009年度分のエネルギー使用量を、法に従って算定し、国等へ適切に報告しました。今後、特定事業者として指定された後、エネルギー管理統括者等の選任、定期報告書および中長期計画書の提出を行ってまいります。

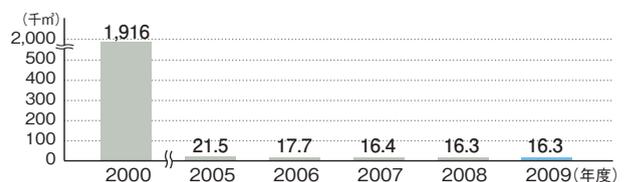
^{*}省エネ法

事業者全体の1年度間のエネルギーを一定規模以上使用している事業者は、そのエネルギー使用量を国へ届け出て、特定事業者の指定を受け、定期的に報告等を行う事を定めた法律

水使用量の削減

天然ガスへの転換により、都市ガスの製造工程が簡略化され、水の使用量および排水量も格段に減少しています。

製造所での水使用量



土壌調査とその対応



当社は、天然ガス転換完了を機に石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、砒素、シアン等による汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えておりますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地につきましては、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。



水処理装置(旧海田工場跡地)

地域環境保全への貢献

事業所における環境保全活動

地域清掃

「自分たちの町は自分たちの手できれいに」をスローガンに、毎月1回各事業所周辺の美化活動を実施しています。

また、2009年6月には、広島市中心部の清掃活動「ごみゼロクリーンウォーク」、7月には「クリーン太田川」河川一斉清掃にも参加しました。



事業所周辺清掃(各事業所で月1回実施)

植樹による環境啓発活動

廿日市工場および備後工場では、地球環境保全の啓発に活用するため、周辺の緑化につとめるとともに、NOxの吸収能力に優れたヒマラヤ桜等の樹木を栽培しています。2005年度には、2000年スペースシャトル「エンデバー」に宇宙飛行士毛利衛さんと一緒に搭乗した、宇宙桜(エゾヤマザクラ)を植樹しました。



ヒマラヤ桜(廿日市工場)



宇宙桜(廿日市工場)

地域における環境教育の実施



行政、学校等と連携して環境教育活動を推進しています。

環境教育実績

開催期日 2009年度 通期	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業 サイエンスショー(小学校22校、中学校1校、公民館7カ所、その他8カ所訪問) 理科教育事業による授業 燃料電池実験等(中学校7クラス、高等学校1クラス) 工場見学・環境教育 (廿日市工場287名、備後工場77名) 生協ひろしまエコ・クッキング (生協ひろしま共催 2回開催60名) キッズシェフクラブ (2回開催48名)
2009.6	広島修道大学環境講義
2009.8	先生方のためのエネルギー・環境問題セミナー・見学会 (エネルギー環境教育情報センター主催 11名) エコ・クッキング、中央監視制御室見学
2009.10	県建築士協会 呉支部 エコセミナー 広島大学環境講義
2010.1	「(社)広島消費者協会懇談会」にて講演
2010.3	「みはらし環境会議情報交流会」にて講演

ショールームにおける環境啓発活動

ゲストピアセンターにおいては、省エネガス機器の展示をはじめ、エコ・クッキング等の環境関連セミナーを開催しています。

- エコ・クッキング料理教室等(5回開催、117名)

エコ・クッキング料理教室

環境に配慮した調理方法(買い物・調理・後片付け)を学ぶ料理教室

※「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標です。



環境講演(県建築士協会 呉支部)



エコ・クッキング(ゲストピアセンター)

各種環境フェア等への出展



環境イベント参加実績

開催期日 2009.6	<ul style="list-style-type: none"> 環境の日ひろしま大会【環境の日ひろしま大会実行委員会】サイエンスショー、省エネ機器・天然ガス自動車展示 	開催期日 2009.12	<ul style="list-style-type: none"> 知って得する!省エネ科学館【中国経済産業局】サイエンスショー、省エネ機器展示
2009.9	<ul style="list-style-type: none"> ひろしまバスまつり【(社)広島県バス協会】天然ガス自動車展示 	2009.12	<ul style="list-style-type: none"> ストップ地球温暖化県民参加イベントーうちエコしまSHOW【広島県】省エネ機器展示
2009.10	<ul style="list-style-type: none"> ひろしまトラックまつり【(社)広島県トラック協会】天然ガス自動車展示 	2009.12	<ul style="list-style-type: none"> わが町の温暖化対策エコレシピ オーディション【(社)脱温暖化センター広島】審査員
2009.11	<ul style="list-style-type: none"> 第6回ひろしま温暖化ストップ!フェア【広島市地球温暖化対策協議会・広島市】サイエンスショー、省エネ機器・パネル展示 		

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県内の企業・団体により構成されている環境保全推進組織へ委員として参画し、環境教育・各種イベント等を支援しています。

団体・事業	事務局	支援活動
ひろしま地球環境フォーラム	広島県	イベント支援等
広島県青少年ボランティア活動推進委員会	広島県	青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」協賛
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市	イベント支援
地球温暖化対策はつかいちさくら協議会	廿日市市	工場見学等
廿日市エコサポーターズクラブ	廿日市市	工場見学等
広島修道大学環境コンテスト	広島修道大学	環境コンテスト「修大エコチャレンジ」後援
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局	イベント支援等



環境の日ひろしま大会(ひろしま地球環境フォーラム)

- 広島ガス本社がエコ通勤優良事業場として認定(2009年7月)(国土交通省・公共交通利用推進等マネジメント協議会)

本社ビル屋上緑化

2006年1月本社ビル屋上に屋上庭園(300m²)を設け、ヒートアイランド現象の緩和、CO₂削減、断熱効果による省エネ等生物多様性の保全を推進しており、社員の憩いの場としても活用しています。



屋上庭園

太陽光発電パネルの設置

2009年度本社ビルのリニューアル(省エネ化)に合わせ、屋上および1階玄関ひさし上部に太陽光発電パネル(発電能力合計8.4kW)を設置しました。

また、ショールーム「ガストピア五日市」にも4kWの太陽光発電パネルを設置しました。



太陽光発電

広島ガスグループにおける環境関連事業

LPGタンカー窒素パージ事業(広島ガスサービス㈱)

広島ガスサービス㈱は、LPGタンカーのパージ事業を広島ガス海田基地内で実施しています。

事業開始当初は、カーゴタンク内LPG残ガスの80%を海上で大気放出し20%を燃焼処理していましたが、現在はLPG回収設備を設置し、回収したLPGはほぼ全量を都市ガスの増熱用原料として活用しています(年間約400t)。

従来燃焼処理していた約100tのLPGを有効利用することにより、CO₂発生量は年間約300t-CO₂削減し、温室効果ガス排出の削減に貢献しています。



LPGタンカー窒素パージプラント

自動車解体ゴミリサイクル事業(広島ガステクノ㈱)

広島ガステクノ㈱は、自動車解体ゴミのリサイクル技術を開発・事業化し、2006年7月広島ガスの海田基地内に「ASR[※]再資源化プラント」を設置し操業しています(処理能力:7,200t/年)。このASR再資源化技術は、廃棄物炭化・乾留システムというリサイクル率90%以上を誇る独自技術で、有機物と金属類の混在廃棄物を少ない燃料で効率よく乾留させて金属類と炭化物に分類し、製鉄会社等に販売しています。また、このプラントの設計・施工も行っています。



ASR 再資源化プラント
※ASR: Automobile Shredder Residue(自動車シュレッダーダスト)

環境活動のあゆみ

環境活動年表



環境省ガイドライン対照表

「環境報告ガイドライン」 ~2007年版~

<記載項目>

< We do! 2010
掲載ページ >

1. 基本的項目:BI

BI-1 経営責任者の緒言	3~4
BI-2 報告に当たっての基本的要件	
BI-2-1 報告の対象組織・期間・分野	1,裏表紙
BI-2-2 報告対象組織の範囲と環境負荷の捕捉状況	21
BI-3 事業の概要(経営指標を含む)	9~22
BI-4 環境報告の概要	
BI-4-1 主要な指標等の一覧	9~10,19~22,29~32,35,36,40
BI-4-2 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、 計画及び実績等の総括	27~28
BI-5 事業活動のマテリアルバランス (インプット、内部循環、アウトプット)	29~30

2. 環境マネジメント指標:MPI

MP-1 環境マネジメントの状況	
MP-1-1 事業活動における環境配慮の方針	25~28
MP-1-2 環境マネジメントシステムの状況	25~26
MP-2 環境に関する規制の遵守状況	36
MP-3 環境会計情報	31~32
MP-4 環境に配慮した投資の状況	31~32
MP-5 サプライチェーンマネジメント等の状況	29~30
MP-6 グリーン購入・調達状況	27~28,40
MP-7 環境に配慮した新技術、DIE等の研究開発状況	27~28,34
MP-8 環境に配慮した輸送に関する状況	27~28,34
MP-9 生物多様性の保全と生物資源の 持続可能な利用状況	36~38
MP-10 環境コミュニケーションの状況	27~28,37~38,47~50,53~54
MP-11 環境に関する社会貢献活動の状況	27~28,37~38,47~50
MP-12 環境負荷低減に資する商品、サービスの状況	27~30,33~34

3. オペレーション指標:OPI

OP-1 総エネルギー投入量及びその低減対策	29~30,35,40
OP-2 総物質投入量及びその低減対策	29~30,40
OP-3 水資源投入量及びその低減対策	29~30,36,40
OP-4 事業エリア内で循環的利用を行っている物質等	35~36,38,40
OP-5 総製品生産量又は総商品販売量	29~30,40
OP-6 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	27~30,33~36,40
OP-7 大気汚染、生活環境に係る負荷量及び その低減対策	40
OP-8 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	36
OP-9 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分 量及びその低減対策	27~30,35~36,40
OP-10 総排水量等及びその低減対策	-

4. 環境効率指標:EEI

環境配慮と経営との関連状況	31~32
---------------	-------

5. 社会パフォーマンス指標:SPI

社会的取組の状況	
① 労働安全衛生に関する情報・指標	52
② 雇用に関する情報・指標	51
③ 人権に関する情報・指標	52
④ 地域及び社会に対する貢献に 関する情報・指標	37~38,47~50
⑤ 企業統治(コーポレートガバナンス)・企業倫理・ コンプライアンス及び公正取引に関する情報・指標	13~16
⑥ 個人情報保護に関する情報・指標	16
⑦ 広範な消費者保護及び製品安全に関する情報・指標	43~46
⑧ 企業の社会的側面に関する経済的・情報・指標	-
⑨ その他の社会的項目に関する情報・指標	-

データ一覧

			2007年度 (H19)	2008年度 (H20)	2009年度 (H21)	
お客さま先						
お客さま	お客さま件数		427,438	425,977	422,866	
大気	お客さま先でのCO ₂ 排出	排出量 (t-CO ₂)	1,184,667	1,127,275	1,182,889	抑制量は、天然ガス転換およびガス コージェネレーションシステムの普及 等による
		抑制量 (t-CO ₂)	185,513	180,780	188,034	
事業活動に伴うもの						
原料・製品	原料LNG量 (千t)		382.4	354.5	362.3	
	原料LPG量 (千t)		1.5	1.2	1.3	
	増熱LPG量 (千t)		12.1	10.2	22.5	
	ガス販売量 (百万m ³)	卸供給含む		501.7	477.6	501.2
卸供給含まず			470.6	431.9	451.1	
	ガス化効率 (%)		99.0	99.0	99.0	
エネルギー	購入電力使用量 (千kWh)	製造	4,399	4,514	4,086	
		オフィス	3,209	3,245	3,194	
		合計	7,608	7,759	7,280	
	都市ガス使用量 (千m ³)	製造	6,917	6,434	7,074	
オフィス		359	332	288		
合計		7,276	6,766	7,362		
用水	用水使用量 (千m ³)	製造	16.4	16.3	16.3	
		オフィス	23.7	24.1	22.1	
		合計	40.1	40.4	38.4	
用紙	使用枚数 (千枚)		3,124	3,831	4,232	
	大気・水質	都市ガス製造時のCO ₂	排出量 (t-CO ₂)	21,474	20,219	20,962 (21,449)
排出原単位 (g-CO ₂ /m ³)			45.8	46.8	46.1 (47.2)	※1
抑制量 (t-CO ₂)			333,014	317,194	333,153 (332,666)	※1
NOx		排出量 (t)	21.7	18.3	18.5	
		メタン	排出量 (t-CH ₄)	10	11	11
オフィスでのCO ₂		排出量 (t-CO ₂)	3,052	2,905	2,808 (3,189)	※1
		排出原単位 (g-CO ₂ /m ³)	6.1	6.1	5.6 (6.4)	※1
廃棄物等	一般廃棄物	発生量 (t)	98.4	82.9	90.3	
		再資源化量 (t)	76.4	57.9	66.5	
		再資源化率 (%)	77.6	69.9	73.6	
		外部排出量 (t)	22.0	24.9	23.8	
		産業廃棄物 (製造所)	発生量 (t)	3.6	6.9	3.2
		減量化・再資源化量 (t)	3.3	6.7	2.9	
		減量化・再資源化率 (%)	91.8	97.1	91.7	
		最終処分量 (t)	0.3	0.2	0.3	
	産業廃棄物 (事業所)	発生量 (t)	141.9	183.4	180.6	
		減量化・再資源化量 (t)	137.4	170.9	162.8	
		減量化・再資源化率 (%)	96.8	93.2	90.1	
		最終処分量 (t)	4.5	12.5	17.8	
	ポリエチレン管	発生量 (t)	8.6	5.1	6.5	
		再資源化量 (t)	8.5	5.1	6.5	
		再資源化率 (%)	98.8	100.0	100.0	
	鋳鉄管・鋼管	発生量 (t)	132.2	146.1	132.7	ガス工事会社分を含む。
		再資源化量 (t)	132.2	146.1	132.7	
		再資源化率 (%)	100.0	100.0	100.0	
		ガス管工事に伴う掘削土	発生量 (千t)	90	118	109
		削減量 (千t)	39	52	57	
		削減率 (%)	30.4	30.8	34.2	
		再資源化量 (千t)	69	104	104	
		再資源化率 (%)	77.0	88.0	95.5	
天然ガス自動車	普及台数 (台)	乗用車	285	337	347	普及台数は、広島ガス管内での値を示す。
		トラック	310	349	373	
		塵芥車	30	34	39	
		バス	26	35	45	
		合計	651	755	804	
	社内導入台数 (台)	166	183	183	社内導入台数は、上記の内数を示す。	
グリーン購入	購入率 (%)	84	89	89		

CO₂排出係数						
購入電力	全電源平均値 (kg-CO ₂ /kWh)		0.555	0.555	0.555	※2
	火力平均値 (kg-CO ₂ /kWh)		0.690	0.690	0.690	※3
	中国電力(株) 実排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)				0.674	※4
都市ガス	13A (kg-CO ₂ /m ³ N)		2.36	2.36	2.36	当社の都市ガス(13A)の代表的な組成から算出

※1.()内の数値：購入電力CO₂排出係数は、中国電力実排出係数 ※2.特定排出者の事業活動に伴う、温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(2006.3 経済産業省、環境省令 第3号)
 ※3.中央環境審議会目標達成シナリオ小委員会中間まとめ(2001.6) ※4.電気事業者別実排出係数・調整後排出係数の公表について(2009.12環境省)

社会分野

地域の皆さまとともに、
持続可能な社会の実現にむけた取り組みを
推進してまいります。



当社は創立以来、

公益事業者として社会基盤を支える必要不可欠な事業とサービスを提供させていただき、
揺るぎのない「信頼」という資産＝ブランドを築き上げてきました。

エネルギーを安定的かつ安全にお届けし、

安心して安全にお使いいただくという本来業務に加え、

地域の皆さまと連携したさまざまな活動を通じ、

持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

社会分野ではその活動の一端をご紹介します。

社会活動の考え方

お客さまとの関わり



都市ガスを安心して安全に、そして満足してご利用いただけるよう、さまざまな対策をきめ細かく実施しています。

→
P.43

地域社会との関わり



地域の皆さまのために、地域の未来のために、さまざまな社会貢献活動を行っています。

→
P.47

広島ガスの活動

従業員との関わり



従業員にとって、やりがい・働きがいがあり、働きやすい職場環境づくりをめざします。

→
P.51

情報発信・コミュニケーション



すべてのステークホルダーの皆さまに当社グループの活動等をご理解いただけるよう、さまざまな情報発信等を行っています。

→
P.53

持続可能な社会の実現にむけて

お客さまとの関わり



輸送

LNG船による輸送

LNG船は国際条約に従って安全航行に努め、燃料にも天然ガスを併用し環境へ配慮しています。



インドネシア ボンタン基地



LNG船 スリヤアキ

- 輸送中にLNGが気化したボイル・オフ・ガスの船舶燃料への有効利用（環境負荷の低減）
- 港湾設備の保安対策の強化・実施（改正ソールス条約対応等）
- 荷役作業時のコンピュータシステムによる常時監視と船陸相互の作業手順確認の徹底



製造

廿日市工場・備後工場・東広島製造所

環境に配慮し災害に強い工場で都市ガスを製造しています。

- 安全性と景観に配慮した地中式（ピットイン式）LNG貯槽[※]の採用
- 景観に配慮した工場全体の色彩計画
- 行政や業界の技術基準に対応した設備の設計・建設（材料、溶接、耐震設計等）
- コンピュータシステムによる運転制御・誤操作防止と中央制御室での24時間一括監視
- オペレーター等の教育の徹底と緊急措置訓練の実施
- 法定・自主基準による設備保全の実施
- 防災設備の設置（水幕、散水、粉末消火、泡消火、化学消防車等）

[※]地中式（ピットイン式）LNG貯槽

地中に構築したコンクリート製のピットの中にLNG貯槽を設置するタイプで、日本では当社が初めて採用しました。このタイプは、液面が常に地表面より下にもあり、外周のピットが防液堤の役目を果たすなど、安全性にも優れています。



中央制御室での一括監視（廿日市工場）



化学消防車（廿日市工場）



供給

都市ガスのお届け

都市ガスの供給状況を一元管理し、安定供給と保安の確保に努めます。

- 行政や業界の基準に対応した設備の耐震設計と耐震性の高い導管設備の導入（ポリエチレン管、融着継手、メカニカル継手等）
- ガスホルダー、整圧器、導管等の巡視・点検・検査等の実施
- 中央監視制御室での遠隔による送出圧力等の監視・操作（24時間常時監視）
- 作業担当者等の教育の徹底と緊急措置訓練の実施
- マッピングシステムの活用（導管と地図情報のデータベース化）
- 導管網の区分化（ブロック化）による被害の最小化
- 保安指令システムの活用（保安出動の迅速化と保安情報の整理）

ブロック化による供給停止エリアの限定（広島地区概念図）



技能者の養成（緊急措置）



消費

お客さま

充実したお客さまサービスや安全確保とともに最新ガス機器による快適なガスライフを提案しています。

- 安全設備・機器の普及促進
- 定期的なお客さま宅での法定保安点検の実施（ガス漏れ検査、給排気調査）
- ガス機器・設備の使用方法・安全対策等の周知
- 保安センターの設置（ガス漏れ・供給支障の24時間受付）
- コールセンター・お客さま相談窓口の設置
- 社内資格制度による工事・点検等の技能者の養成および教育の実施
- CISの運用（お客さま接点業務の一元管理、お客さまの声の記録・蓄積・活用）
- 広島ガスグループ従業員を対象としたCS向上研修の実施
- ショールーム等における最新ガス機器のご提案



安全対策の周知活動（換気）

都市ガスを安心して安全に、そして満足してご利用いただけるよう、各段階でさまざまな対策を実施しています。



都市ガス原料(LNG:液化天然ガス)の安定調達

原料部 下石 和幸



都市ガスの原料であるLNGの調達業務を担当しています。
広島ガスのLNG契約は売主との直接契約で、調達先は従来インドネシアとマレーシアでしたが、2009年4月から新たにサハリンIIプロジェクトが加わりました。サハリンIIはロシア初のLNGプロジェクトで、当社においても初のFOB(積地渡し)の契約となっています。
FOB契約のLNG輸送のために2007年に「サン アローズ」を新たに建造し、当社として主体的にLNG船を運用できるようになりました。このため、配船のスケジュール調整が容易になったほか、さまざまな積地からLNGを輸送することが可能となり、LNG輸送、調達の柔軟性が大きく向上しています。当社ではこのように、さまざまな国、契約形態の原料調達先を組み合わせることで、LNGの調達の安定化を図っています。
私たち原料部では契約中の売主だけでなく、その他の売主、関係者と積極的に情報交換を行っています。都市ガス原料を輸入に依存せざるを得ないわが国では、調達先の多様化を図る事により、お客さまへの供給安定性が一層向上すると認識の下、今後も引き続き、原料の安定調達に努めていきます。



都市ガス製造工場のオペレーション・安全対策

廿日市工場 升森 将互



広島ガスの主力工場である廿日市工場で、都市ガス製造のオペレーション業務を担当しています。
廿日市工場は24時間365日操業しています。そのため私たちオペレーターは昼夜・土日祝日を問わず3交替勤務で対応し、場内設備の運転・監視や、事故・異常の早期発見のためのパトロール・ガス漏れ点検等を行っています。
同時に、自然災害も含めた操業上のトラブル発生時にも早期に復旧対応ができるよう、さまざまなトラブルを想定した緊急措置訓練を計画的に実施するとともに、個人個人が設備の機能や特徴を熟知し、安全操業・安定供給を継続させるべく心がけています。
また地球規模での取り組みが求められる環境面についても、ゴミの分別等の一般的な取り組みに加え、工場独自の省エネルギー・省CO₂の視点に立った取り組みを行っています。
今後も、お客さまに安心・満足してガスをご利用いただけるよう、ガスを製造する立場で高い使命感と誇りを持って任務を全うしていきます。



ガス導管の保安対策

供給部 半田 貴志



広島ガスでは、万が一のガス漏えいおよび導管事故等に備え、24時間365日の緊急出動体制を整備しています。
災害への緊急対応レベルの向上を目的とした教育、主要幹線の破損事故を想定した緊急措置訓練や行政主催の各種防災訓練にも積極的に参加しています。
ガス漏れ通報があった場合には、ただちに現場に急行し、速やかに異常の有無を調査して必要に応じて復旧作業を実施しています。ガス管の本格的な復旧作業が必要な場合、修理完了までの期間の対応として、暫定供給(仮設配管または移動式ガス発生設備設置)を行い、ガスを継続してご使用いただけるよう努めています。また、作業に当たっては常にお客さまの安全を第一に考え、確実・迅速な対応に努めています。
お客さまに作業内容を説明する際には、分かり易い言葉でご納得いただけるよう心がけ、作業完了後もフォロー電話の実施によって、お客さま満足度の向上にも日々懸命に取り組んでいます。



快適なガスライフをお届けするために

家庭用エネルギー営業部 植野 博之



当社ショールーム「ガストピアセンター」において、家庭用ガス機器の提案業務を行っています。
「ガストピアセンター」では、家庭用燃料電池エネファームやSiセンサーコンロの展示をはじめ床暖房・浴室暖房乾燥機等の体感コーナーを設置し、ガス機器に関する快適性・安全性・省エネ性・環境性について、お客さまに実際の体感を通じてご理解いただけるよう努めています。
お客さまと接する際には、当社からの情報の一方通行になるのではなく、お客さまのお話をよく伺って、ご要望に沿った提案ができるよう心がけています。
今後も、お客さまとの「対話」を通じて、ガス機器による快適な生活をお届けするとともに、省エネ性・環境性に優れた機器の普及拡大により、家庭部門での温暖化対策に貢献できるよう努めていきます。

お客さまとの関わり



緊急時の保安対策

万全の緊急措置体制により、災害発生時等でもエネルギーの安定供給と保安の確保に努めていきます。

当社では、日頃から地震・火災・台風・洪水等の緊急事態に備えて体制を整備し、被害の未然防止にむけ、さまざまな安全対策を講じています。

被害が発生した場合、または被害の発生が予想される場合は、関連情報(工場、導管、お客さま、気象等の状況)の早期収集に努め、必要に応じ警戒体制、または社長を本部長とした対策本部を設置します。

万一被害が発生した場合でも、関係各所と連絡・連携を取りながら、被害の拡大や二次災害の防止のための措置[※]を行い、可能な限り早期の復旧をめざして対応していきます。

被害や対応の状況は、行政等の関係機関、報道機関に対しても適宜発信します。

なお、新型インフルエンザ対策についても行動計画に則り、適切に対応していきます。

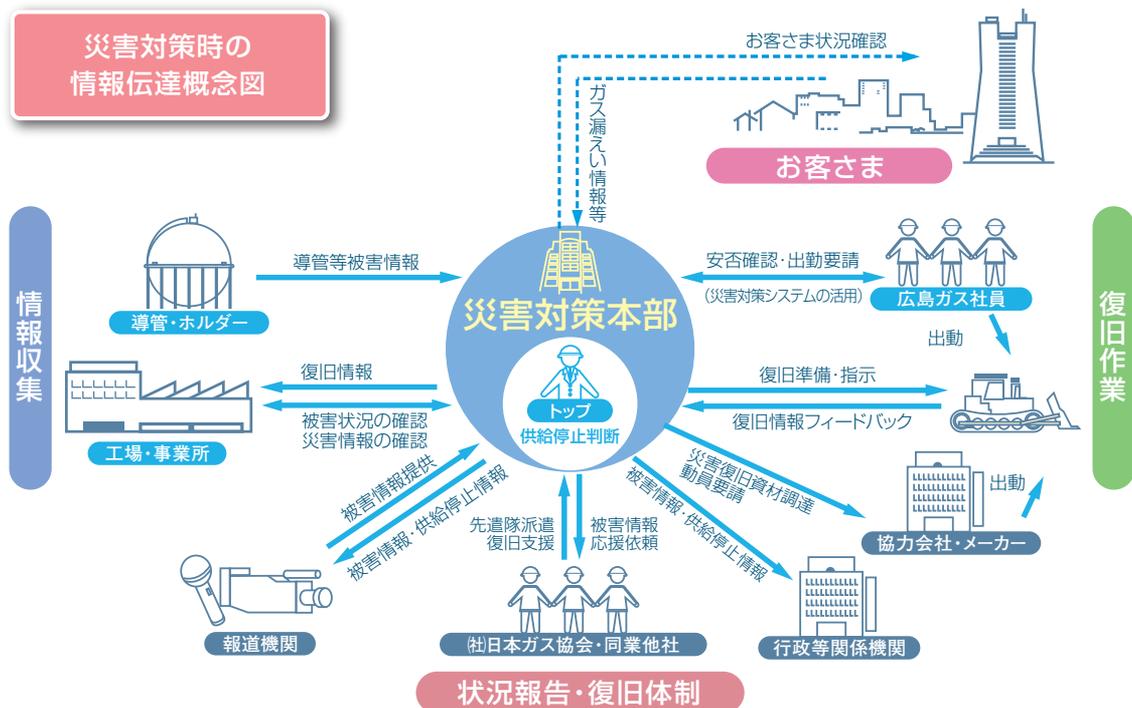
※被害が大きい区域は、ガスの供給を停止することがあります。

広島ガスにおける対策(例)



- マイコンメーターの設置(ガス漏れや地震を感知してガスを自動的に遮断)
- 行政や業界の基準に対応した耐震設計(製造設備・供給設備等)
- 耐震性の高い導管設備の導入(ポリエチレン管、融着継手、メカニカル継手等)
- 導管網の区分化(ブロック化)による被害の最小化
- 緊急措置要領の見直し、拡充
- 災害対策システムの構築・運用(安否確認・出勤要請・被害想定等)
- 社員教育、地震訓練の実施等
- 新型インフルエンザ対策行動計画の見直し、事業継続計画の策定

災害対策時の情報伝達概念図

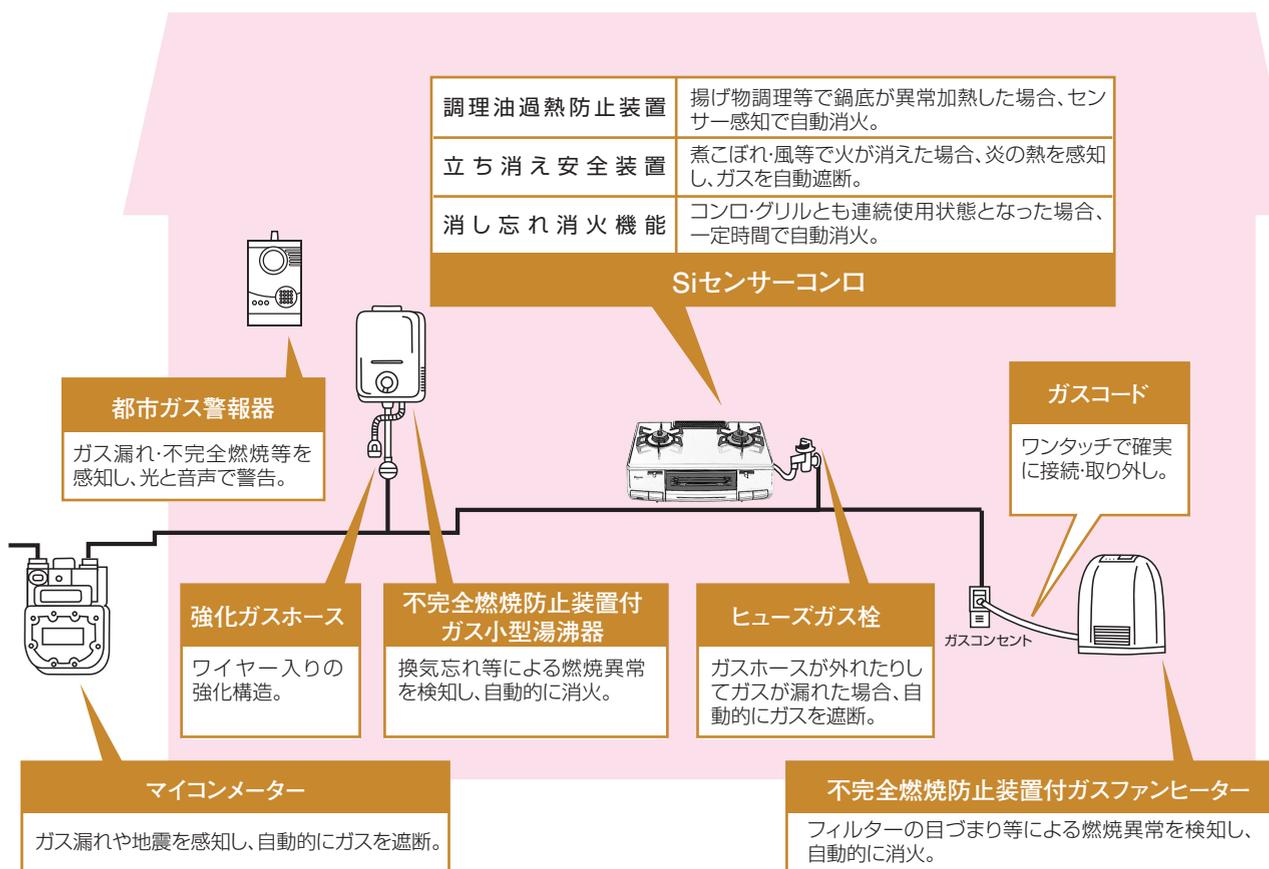


都市ガスを安心して安全に、そして満足してご利用いただけるよう、各段階でさまざまな対策を実施しています。

お客さま先での安全対策

当社では、お客さまのガス設備に対する法定保安点検の確実な遂行や、当社ホームページ等を通じた安全周知の強化に努めるとともに、安全型機器への取り替え促進や給排気設備の改善にも取り組んでいます。こうした取り組みに、家庭用ガスコンロ(卓上型一口コンロを除く)の全口に安全装置を搭載した「Siセンサーコンロ」が2008年から加わり、台所からの火災根絶をめざし、その普及に努めています。

お客さま先ガス設備での安全機能(例)



ガス事故の防止に向けた保安対策(例)

■啓発活動の推進

◎お客さま等への啓発活動の推進(CM、新聞広告、ダイレクトメール、ホームページ等)

■保安対策の強化(中期経営計画・事業計画への反映 P.19)

- ◎経年本支管の取り替え促進
- ◎経年埋設内管(お客さま資産)対策の計画的な実施
- ◎給排気設備の改善、安全型機器への取り替え促進
- ◎業務用厨房等における「業務用換気センサー」の設置を推進



ホームページで安全使用の啓発



Siセンサーコンロ(バーナー部分)

地域社会との関わり(芸術・文化、地域、スポーツ振興)

広島ガスは、企業市民としてさまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」「地域振興」「スポーツ振興」「教育支援(P49～50)」の4分野を軸に展開しています。



芸術・文化、地域振興

「第23回広響ホットコンサート」を開催

お客さま、地域の皆さまに日ごろの感謝の気持ちを込めて

中・四国唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」。その広響のサポートと地域に貢献させていただくことを目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

23回目となる2009年度は、広島厚生年金会館(現:広島市文化交流会館)にて「100年分の感謝のハーモニー」と題し、ソリストにピアノの菊池洋子氏、指揮者には秋山和慶氏を迎え、公募で招待の1,200人を含む約1,650人のお客さまに、華麗なコンチェルトと小品や大編成の管弦楽曲まで幅広く堪能いただきました。



コンサートステージ



演奏の様子

ひろしまフラワーフェスティバルへの参加・神楽フェスティバルへの特別協賛

地域の皆さまとともに、地元の活性化にむけて

毎年5月3日～5日に開催され、全国でも有数の来場者数(2010年度:約168万人)を誇るひろしまフラワーフェスティバルに参加しています。

2009年度は、ご来場の皆さまにゆっくりとお過ごしいただける憩いのスペースを提供するとともに、2008年から始まった神楽フェスティバルが、引き続き「安芸高田4団共演でガス」と銘打って開催され、当社は特別協賛し地域文化活動の支援も行いました。

また、環境保全の観点から、JT(日本たばこ産業(株))が主催する清掃活動にも参加、他の企業とも協力して、きれいな街づくりに貢献いたしました。



憩いのスペース GASLAND



神楽フェスティバル



JT清掃活動への参加

「企業等社会貢献活動研究会」における活動

市民・企業・行政による協働のまちづくりの推進を図るため組織された「企業等社会貢献活動研究会」(事務局:広島市、当社ほか17の企業・団体等で構成)に積極参加、参加企業・団体のご協力により、事例紹介や情報交換を行っています。

特に毎年1月、都道府県対抗男子駅伝では観衆が多い平和大通りにおいて、「ごみステーション」を運営し、清掃・環境美化活動を行っています。

今年で3回目となったこの清掃ボランティア活動は、「企業等社会貢献活動研究会」の協働活動として駅伝を盛り上げるとともに、広島市の街のクリーンアップに貢献しています。



「ごみステーション」の運営

広島ガスバドミントン部における地域のスポーツ振興に向けた取り組み

バドミントン講習会の実施

広島ガスバドミントン部は、広島県内の小学校等を訪問し、バドミントンの講習会を開催、地域の子どもたちにバドミントンを通してスポーツの楽しさを伝えています。
2009年度は、1,400人が講習会に参加しました。



講習会

地域の各種イベントへの参加

同部は、「トップスひろしま※」の一員としても、地域のさまざまなイベントに参加しています。

イベント参加の際には、トップスひろしまのPR(トップス所属全チームのグッズ展示やサイン会)に努めるとともに、ひろしまフラワーフェスティバルにおいては、パレードへの参加も行うなど、イベント全体の盛り上がりにも一役買えるよう取り組んでいます。



ひろしまフラワーフェスティバル参加のトップスひろしまメンバー

広島ガスバドミントン部

1995年3月に創部した女子実業団チーム。現在、日本リーグ2部に所属(2010年9月末現在)。日本リーグ以外にも、全日本実業団選手権をはじめ、多くの舞台で活躍している。

※トップスひろしま

広島の主なスポーツクラブが加入し、広島のスポーツ振興に向けた活動をしている組織。プロ野球「広島東洋カープ」やプロサッカー「サンフレッチェ広島」、バレーボールVリーグ「JTサンダース」等9チームのメンバーで構成され、競技の粋をこえ、「オール広島 オール・スポーツ」の実現に向け、さまざまな活動を展開している。



広島東洋カープ合同応援の実施

がんばれ! われらがカープ。地元4社で合同応援

広島の活性化をめざし、2004年度から当社と中国電力(株)で、地元プロ野球団である広島東洋カープの合同応援を開始しました。翌年からは(株)広島銀行が、さらには2006年度からは(株)中電工が加わり、現在に至っています。

2009年度は8月と9月の2試合(対阪神戦、対巨人戦)で実施。4社の合計で約2,200人の役職員とその家族が、新球場マツダズームズームスタジアム広島に集い、熱い声援を送りました。



カープ合同応援

サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」を開催

Go! サンフレッチェ!! 勝利にむけて

プロサッカーJリーグ「サンフレッチェ広島」をサポートし、地域の活力アップにつながるようこの願いを込め、「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。

2009年度は11月に、広島ビッグアーチでの対名古屋グランパスエイト戦で実施。約200人の役職員が集結し、約13,000人のサポーターとともに熱い声援を送りました。

試合開始前のセレモニーでは、社長(現会長)・新入社員による花束贈呈。社員有志によるビッグオーレの掲揚。ハーフタイムには、当社のCMを放映するとともに、暖房器やSiセンサーコンロ、ガス展のPRを行うなど、さまざまな演出でゲームを盛り上げ、サンフレッチェの勝利にむけたメッセージを発信しました。



広島ガススポンサードゲーム

地域社会との関わり(次世代教育への取り組み)

広島ガスでは、地域にエネルギーを供給する事業者として、エネルギー・環境関連を中心に行政、教育委員会、学校、業界等と連携し、次世代教育に積極的に取り組んでいます。

当社の取り組みが、将来を担う世代の育成に寄与し、地域社会等の発展・活性化につながればと考えています。



出前授業によるサイエンスショーの実施(小中学生対象・イベント等)

理科や科学の楽しさについて、実験を通じて分かりやすく紹介する「サイエンスショー」を出前授業形式で展開し、県内の小中学校を年間30校程度訪問しています。冷熱実験・燃焼実験や燃料電池実験に加え、天然ガスの特性や環境の大切さ等もお伝えしています。なお、サイエンスショーは、小中学校に加え、県や市の公的な施設・イベント等でも実施しています。

■ 主な実施場所

学校	公的施設	イベント等
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内の小中学校 (年間30校程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島市こども文化科学館 ● 広島市交通科学館 ● 呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム) ● 県内の公民館 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● ひろしま温暖化ストップ!フェア ● 環境の日ひろしま大会 ● 青少年のための科学の祭典 ● 福山ガス(ガス展) 等



小学校での出前授業

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)の実施(小学生対象)

広島県内の教育関係者、広島市こども文化科学館、広島ガスで実行委員会を立ち上げ、理科・科学好き小学生の育成をめざし、2003年度から実施しています。対象は小学校5~6年生の選抜メンバーで、年間20回程度の学習指導要領にとられない高度な理科講座を展開、地元企業や博物館等との連携プログラムも取り入れています。

なお、SSMは2003年度に(財)社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター主催のエネルギー広報活動表彰制度における「エネルギー環境教育情報センター運営委員長奨励賞」を受賞しています。



実験風景



総合発表会

■ SSMの主な講座内容

- 生物どうしのつながり
- 養老孟司先生特別講座(春山観察)
- 小動物の骨格標本の製作
- 植物研究(植物公園連携プログラム)
- 宿泊研修(広島県北部の自然探求)
- 恐竜研究(博物館連携プログラム)
- 地球を作っている物質(鉱物)
- 大地の謎にせまる(ボーリング調査)
- 蒸気機関車の製作
- 物質の状態変化(ドライアイス実験)
- 化学変化と光
- 化学実験大集合(企業連携プログラム)
- 総合発表会



「エネルギー環境教育情報センター運営委員長奨励賞」受賞

参加者の声

SSMを受講して



保護者 西山 亮子さん

SSMの講座はどれも興味深く、子どもだけでなく親も毎回楽しみに参加させていただいています。

講座では小学生にはちょっと難しいのではと思う内容も、子どもたちが興味を持つことができるように先生方がご指導くださり、子どもは毎回新しい発見にわくわくしています。また、親子で参加できるので、受講後も一緒に講座を振り返り、疑問点などを話すことができます。そしてSSMを通じて貴重な友達も得ることができました。これらのことは子どもたちの今後に生かされると感じています。

このようなきっかけをくださった皆さま方に感謝しています。これからも、理科・科学好きの小学生が、学校ではできないことをSSMで経験して、ますます理科・科学好きになっていくことができると思います。

受講者 西山 拓海くん

僕は、SSMに行くのが楽しくて毎回うきうきしています。学校ではできないような事もありますが、先生方が優しくわかりやすく教えてくださるので、むずかしい事もできます。養老先生など特別講師の先生方もわかりやすく教えてくださいます。受講前に本で読んだことがある事を実際に実験したり、先生の説明を聞いたりする時は、特におもしろいです。

SSMで学んだ事を家でまとめている時にわからない事があったり、また家族で話している時に疑問などがあると、そのままにせず調べる習慣ができました。楽しい実験や新しい発見がたくさんあるので、これからもSSMを続けたいです。

理科教育事業への参画(中学生・高校生対象)

当社技術研究所では、経済産業省の理科教育事業4件に参画しています。当事業は、企業のエンジニアや研究員が、実社会との結びつきを重視した理科授業により、若年層への理科教育を一層充実させようとするものです。

2009年度は、広島県内の中学校7クラス、高校1クラスを訪問するとともに、広島市理科教員を対象とした研修も実施し、ガス事業の紹介、燃料電池の仕組み、燃焼、冷熱実験等、当社の事業と関わりのある内容について、実験も交えながら授業を行いました。



研究員による説明



興味深く実験に取り組む生徒



真剣に観察する生徒

「夢・化学21」への出展(高校生)

当社技術研究所は、2009年8月、高校生向けの啓発キャンペーン事業「夢・化学21」に出展しました。当事業は、高校生への先端素材・技術等の紹介を通じ、化学技術や関連製品への理解の増大を目的とした産学官連携イベントです。

当社ブースでは、クリーンな天然ガスのPR、小型燃料電池模型による発電実験等を実施しました。



展示物に見入る生徒

教育委員会民間企業研修の受け入れ

教育委員会の民間企業研修として、県内の先生方の受け入れを行っています。

「社会構成員としての視野の拡大」等教育委員会の研修目的にマッチするよう、6か月にわたり各職場に配属。今後の教育活動の参考となるよう、当社における企業人としてのあり方や、都市ガスの安定供給・保安の確保等のガス事業の特性をお伝えしています。

参加者の声

民間企業研修を受けて

呉市立明德中学校 脇田 啓治 先生

創立100周年という節目の年に「100年に1度の経験」をさせていただきました。瀬戸内海に浮かぶ島で生まれ育ち、都市ガスの存在自体を知らなかった私には、新しい出会いと発見に満ち溢れた半年間でした。

今回の研修では、ガスというライフラインに関わるさまざまな業務を隔々まで見聞し、安定供給のための努力や苦勞、工夫に感激し涙そうになったことも多くありました。また、お客さまの笑顔に直に触れ、元気ややる気をいただきました。

今回の研修を通して肌で感じたこと、そしてガスの温かさや便利さを児童生徒や広く地域社会に伝えていきたいと思ひます。



インターンシップの受け入れ(大学生対象)

当社では、2000年度からインターンシップの受け入れを行っています。2009年度は広島県内の大学生3名が、希望により各部署に配属され、ガス事業における製造業務や営業業務、広報誌の編集等の実務を体験されました。

参加者の声

インターンシップを体験して

(左から) 近畿大学 壽床 香織さん 安田女子大学 野島 麻美さん 広島市立大学 植村 美紀さん

普段とは違う慣れない環境に緊張の連続でしたが、社員の皆さまには気さくに接していただき、業務に限らず社会人としてのあり方も教えていただくなど充実した5日間でした。実社会を体験すると、ただ思い描くことは比べものにならないほど説得力があり、また刺激的で、漠然としたイメージだった「将来の夢」というものを少しずつカタチにできる一歩になったと思ひます。この経験をもとに、これからの学生生活がより有意義なものになるよう、自分の「将来の夢」を意識して励んでいきたいと思ひます。

お忙しいなか、丁寧にご指導くださった社員の皆さまに心からお礼申し上げます。



従業員との関わり

企業が発展していくためには、従業員の「力(ちから)」が不可欠です。
従業員にとって、やりがい・働きがいがあり、働きやすい職場環境づくりをめざしています。



雇用

地域社会に貢献できる人材を確保するため、自己成長をめざす自立型の人材を求めています。採用にあたっては、男女雇用機会均等法を順守して男女間に格差が生じないよう公正な選考を行うほか、障害者の雇用や定年退職後の継続雇用にも取り組んでいます。

雇用状況の推移

区分	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
期末要員数(人)	679	660	651	639	651
平均年齢(歳)	39.3	39.8	40.6	41.4	41.4
平均勤続年数(年)	17.3	17.8	18.5	18.9	19.4
新卒正社員採用数(人)	0	8	0	3	10
障害者雇用数(人)	13	12	11	12	13

人事制度

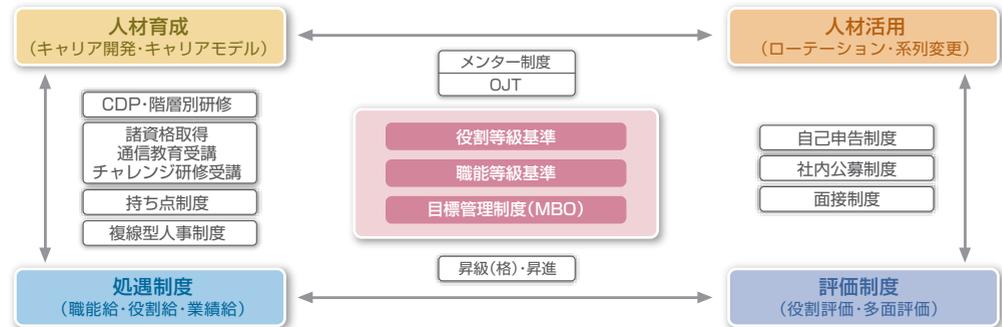
2020年ビジョンの基本方針のひとつとして、「公正かつ透明で風通しの良い組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループをめざす」ことを掲げています。「企業は人なり」の理念にもあるように、会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」にむけて、役職員全員が組織の目標達成にむけチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

当社では、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人

が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事制度を構築・運用しています。能力や成果を評価する評価者に対しては、毎年集合研修・評価者訓練等を実施しています。

また、従業員の育成や自己啓発を支援するさまざまな研修コースを充実させ、従業員のチャレンジを支援しており、その成果を持ち点として登録し、人事制度ともリンクさせています。

人事処遇制度の概念図



研修体系図(例)

	新入社員 ←					→ 管理職能
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修		ジュニアリーダー 研修	マネジメントマインド 研修	新任管理職 研修	管理職 (M1)研修
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後)	CDP3 (入社3年目研修)	CDP8 (入社8年目研修)		CDP40 (40歳時研修)	CDP50 (50歳時研修)
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉各能力別コース					
社内研修 (社内資格研修等)	〈ガス基本スキル〉 〈ビジネス基本スキル〉		〈ガス専門スキル研修(各種資格研修)〉 〈技能向上研修〉 〈オーダーメイド研修〉			
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップ等)	各種部門内研修 各種社外講演会 異業種交流セミナー					
人間性を磨く	人権学習会・マナー講演会・マネジメント講演会					
国内外留学			国内留学	海外留学		
自己啓発支援	通信講座受講支援					
	資格取得支援					

女性人材の積極的な活用

女性の能力の活用が企業の発展に欠かせないものであるという認識が広がるなか、当社においても、事業や業種の特性上これまでは男性主体になりがちだった職場環境や社員の意識を改革し、女性の職域拡大や、女性が働きやすく、そし

て能力を発揮できる職場づくりを推進してきました。そうした取り組みは、社内のみならずお客さまや派遣先企業にも高く評価され、事業の成果にもつながっています。

■ 主な取り組み(例)

- 従来の男性主体の職域に女性社員を配置し、職域を拡大
- 女性の主任、係長、管理職への積極的登用を促進

■ 主任以上の女性数の推移(管理職能・指導職能)

区分	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
主任以上(人)	35	36	41	49

ワークライフ・バランスへの取り組み

◎ 育児・介護休職制度、育児短時間勤務制度

社員の活躍を支援する仕組みのひとつとして「育児・介護休職制度」の利用を促すとともに、2009年より「育児短時間勤務制度」を導入し、働きやすい職場環境づくりを推進しています。これは女性だけでなく、男性の働き方や育児・介護参加の視点を含めた取り組みであり、社会的責任を果たす上でも大変重要であると考えています。

■ 育児・介護休職制度等の利用者の推移

区分	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
育児休職制度利用者(人)	2	2	2	3
育児休職制度利用者の復職率(%)	100	100	100	100

社員の声

育児短時間勤務制度を利用して

お客さま部 月待 麻弥



2004年7月に第1子を出産し、育休を1年間取得。2008年6月に第2子を出産し、1年間育休を取得後、2009年6月から職場復帰と同時に育児短時間勤務制度を利用しています。1人目の時は制度自体が無く、時には残業もあり大変でした。今回はこの制度を利用し、通常より1時間早く午後4時半に退社させてもらっていますので、子ども2人の育児をするには、とても助かっています。何よりも、私が退社した後の問い合わせ対応など、職場のメンバーの強力なサポートに大変感謝しています。

次世代育成支援認定マーク「くるみん」取得

仕事と生活の両立を支援するとともに、地域の次世代育成支援対策に貢献するための行動計画を策定し実施しています。その実施結果が「次世代育成支援対策に取り組んでいる企業」として認められ、2009年8月、厚生労働大臣より次世代育成支援対策推進法に基づく認定マーク「くるみん」を取得することができました。(広島県で8番目に認定)



◎ ボランティア休暇制度

社員のボランティア活動を支援するため、環境保全活動、地域社会貢献活動、社会福祉活動等に参加する社員が取得できる「ボランティア休暇制度」を導入しています。

人権

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

また、社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」を中心に、全役職員を対象に人権学習会や人権講演会を開催するなど、積極的に啓発活動を進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(「同和問題の解決をめざす広島企業連絡会」の略称)に加入し、地元企業と連携した人権活動にも取り組んでいます。

安全衛生・健康管理

労働安全衛生関係諸法規の順守はもちろん、「安全衛生管理規程」を制定し、安全衛生管理組織のもとで労働災害の防止と従業員の安全・健康管理の確保、快適な職場環境づくりを行っています。

健康管理面では、当社独自の「健康管理規程」に従い、定期健康診断では産業医の指示のもと、法定検査項目以外の検診も実施するとともに、個別カウンセリングを行っています。

また、メンタルヘルスについては、社外のカウンセリング機関と連携、さまざまな情報の提供や管理職への講習会を実施するなど、十分配慮しています。

情報発信・コミュニケーション



当社は、すべてのステークホルダーの皆さまに当社グループの活動等をご理解いただけるよう、さまざまな情報発信等を行っています。

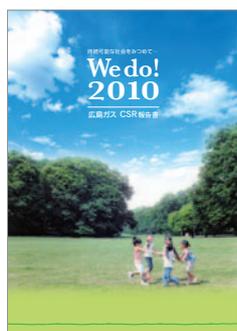
具体的には、本報告書やホームページ、各種法定書類等を通じてIRや環境保全に関する情報を適宜発信しているほか、会社案内、グループ広報誌、プレスリリース等を通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。また、お客さまや地域の消費者団体の皆さまとの交流にも意欲的に取り組んでいます。

CSR報告書「We do!」・会社案内



「We do!」は、当社グループの現況を経営・環境・社会の3つの視点からご報告する年次レポートです。1年間の主な取り組みとその成果についてご報告するだけでなく、将来の経営戦略や事業計画・IR情報等についても詳細にご紹介し、より多くの皆さまに当社グループの事業活動等を理解していただけるよう、内容の充実にも努めています。

また、一般のお客さま向けには会社案内を発行、イラストや写真を多く用いて広島ガスの事業活動をより分かりやすく紹介しています。



「We do! 2010」

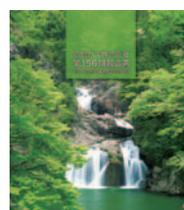


会社案内

各種IR情報ツール



年4回、有価証券報告書等を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行するなど、適宜、当社の活動内容や財務状況の全容を明らかにしています。なお、当社のホームページにおいても各種IR情報をご覧いただけます。



第156期報告書



広島ガスホームページ「IR情報」



プレスリリース



決算短信

グループ広報誌

広島ガスグループ役員が経営重要事項をしっかりと情報共有し、グループ全体の価値向上・リスク管理を行うことを目的に、年6回発行しています。グループ会社の役員に加え、同業他社(エネルギー関係)、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダー等にも配布。当社グループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GAS LAND」

広島ガスホームページ

当社の事業内容等を十分にご理解いただき、より多くの皆さまの快適な生活の創造にお役立ていただけるよう、多彩な生活情報・ガス器具やガスの保安に関する情報等を適宜更新しています。

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



ホームページ画面

◎迅速かつタイムリーに情報を発信しています

当社グループのトピックスや財務状況等の情報は、記者会見、プレスリリース等を適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまにはマスメディアを通じ速やかに伝達

されるよう、積極的な情報発信を行っています。

なお、プレスリリース等の資料は、当社のホームページからご覧いただけます。



記者会見の様子



エネファーム披露式典



取材の様子

消費者団体との懇談会

◎お客さまにガス事業を知っていただくために

当社の事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため、(社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。懇談会では当社の取り組みをご説明するとともに、当社の施設見学や講演会等を行い、当社の活動状況について幅広くご紹介しています。



(社)広島消費者協会との定例懇談会

料理教室・セミナー

◎安心して快適なガスライフを発信しています

当社ショールームや住宅展示場でのイベント等において、ガス機器の良さを体感していただくための活動をしています。また、ショールームでは、ガス機器の上手な使い方(省エネ性)、環境性、安全性、快適性をテーマにした料理教室やセミナーを開催しています。

このようなお客さまとの接点を通じ、安心して快適なガスライフを発信しています。



料理教室

'09ガス展

◎ガスのある快適な暮らしをご提案

2009年度のガス展は、「ガス is ミラクル ミライクル」をコンセプトに開催し、11月28日から2日間で約2万2千人のお客さまにお越しいただきました。お客さまには、当社創立100周年の感謝の気持ちをお伝えするとともに、

エネファーム等の最新ガス機器の展示・体験を通して、「さらなる期待と可能性」をご提案し、ガスのある快適な暮らしを発信しました。



シアター形式でPRしたエネファーム



Siセンサーコンロ展示販売コーナー



来場者でにぎわう会場

広島ガスCSR報告書 2010

発行 2010年9月(次回予定 2011年9月)

広島ガス株式会社 広島市南区皆実町2丁目7-1
広報環境部 ☎082-252-3000(直通)



《表紙デザイン》

自然の中でのびのびと遊ぶ子どもたちの笑顔は明るい未来を予感させます。

私たちは、持続可能な社会の実現をめざし、次の世代に引き継いでいくため全力を傾ける企業であり続けたいという信念をこの写真を通して表現しています。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

広島ガスはチーム・マイナス6%に参加しています。